

大学番号：公001

注3

[平成29年度設置]

計画の区分：学部設置

注1

届出

宮城大学 事業構想学群

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

公立大学法人 宮城大学
平成29年5月1日現在

作成担当者

宮城大学事務部学務課

主幹

サトウ
佐藤

ケンジ
憲治

電話番号 022-377-8594

(夜間) 022-377-8594

FAX 022-377-8282

e-mail kyouiku@myu.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

<事業構想学群 事業プランニング学類>

	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	12
4. 既設大学等の状況	13
5. 教員組織の状況	14
6. 留意事項等に対する履行状況等	21
7. その他全般的事項	22

<事業構想学群 地域創生学類>

	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	27
2. 授業科目の概要	31
3. 施設・設備の整備状況、経費	36
4. 既設大学等の状況	37
5. 教員組織の状況	38
6. 留意事項等に対する履行状況等	45
7. その他全般的事項	46

<事業構想学群 価値創造デザイン学類>

	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	51
2. 授業科目の概要	55
3. 施設・設備の整備状況、経費	60
4. 既設大学等の状況	61
5. 教員組織の状況	62
6. 留意事項等に対する履行状況等	69
7. その他全般的事項	70

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

公立大学法人宮城大学

(2) 大 学 名

宮城大学

(3) 大学の位置

〒981-3298

宮城県黒川郡大和町学苑1番地1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(ニシガキ マサル) 西垣 克 (平成23年4月)	(カワカミ ノブアキ) 川上 伸昭 (平成29年4月)	任期満了によりH28.11.1 学長選考会議にて選出 (29)
学 長	(ニシガキ マサル) 西垣 克 (平成23年4月)	(カワカミ ノブアキ) 川上 伸昭 (平成29年4月)	任期満了によりH28.11.1 学長選考会議にて選出 (29)
学 部 長		(カザミ ショウゾウ) 風見 正三 (平成29年4月)	届出時には学群長が未定 であったが、学内規程に よりH29.3.22定例理事会 にて決定(29)
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成26年度開設の4年制の学科の場合(平成29年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
事業構想学群 事業プランニング学類 学士(事業プランニング学)	経済学関係	4年	60人	-	240人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	60 (-) [5]	-	- (-) [-]	-	- (-) [-]	-	- (-) [-]	-	1.05倍	入学時は, 一部の選抜区分を除き, 事業構想学群としての学群一括入試のため, 学群全体を各学類で按分して記載しており, 2年次進級時に学類を決定して収容する。なお, 入学時に学類が決定している学生は, A0入試区分入学者9名, 外国人留学生入試区分3名の計12名である。 (29)
志願者数	214 (-) [20]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]		
受験者数	147 (-) [20]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]		
合格者数	65 (-) [3]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]		
B 入学者数	63 (-) [3]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]		
入学定員超過率 B/A	1.05		-		-		-			

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年度で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ [] 内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	対象年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	63 [3] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	1年次の在学者については、一部の選抜区分を除き、事業構想学群としての学群一括入試のため、学群全体を各学類で按分して記載しており、2年次進級時に学類を決定して収容する。 なお、入学時に学類が決定している学生は、A0入試区分入学者9名、外国人留学生入試区分3名の計12名である。(29)
2年次			- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
3年次					- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
4年次							- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
計							- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成29年度 入学者	210 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
			平成32年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	0 人	平成30年度	人	人		#DIV/0! %
			平成31年度	人	人		
			平成32年度	人	人		
平成31年度 入学者	人	0 人	平成31年度	人	人		#DIV/0! %
			平成32年度	人	人		
平成32年度 入学者	人	人	平成32年度	人	人		#DIV/0! %
合 計	210 人	0 人					0.00 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<事業構想学群 事業プランニング学類>

(1) 授業科目表

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置						備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手			
基 盤 教 育 科 目	宮城大学の知の体系	1前	2								兼3		
	大学での学び入門	1前	1								兼1	カリキュラムセンター教員の異動に伴う担当者変更 (29)	
	社会の中で生きる	1前	1								兼1	全学群で共通科目として授業を実施するための担当者変更 (29)	
	キャリアデザインⅠ	1後	1								兼1	専門科目のキャリア教育科目を担当する担当者へ変更 (29)	
	スタートアップ・セミナー	1前	2								兼1 兼8	少人数教育実施のため担当者追加 (29)	
	アカデミック・セミナー	1後	2								兼1 兼8	少人数教育実施のため担当者追加 (29)	
	地域フィールドワーク	1前	2								兼1 兼10	学外での演習を伴うため担当者追加 (29)	
	情報化社会と技術	1後	2								兼1 兼5	複数クラス開講のため担当者追加 (29)	
	データサイエンス入門	1前	2								兼1 兼5	全学群で共通科目として授業を実施するための担当者変更, 複数クラス開講のため担当者追加 (29)	
	English Reading SkillsⅠ	1前	1								兼5 兼4	新規教員採用に伴う担当者変更, 産休による担当者変更, クラス数の減に伴う担当者の減 (29)	
	English Self-ExpressionⅠ	1前	1								兼5 兼2	産休による担当者変更, クラス数の減に伴う担当者の減 (29)	
	English Reading SkillsⅡ	1後	1								兼5 兼3	新規教員採用に伴う担当者変更, クラス数の減に伴う担当者の減 (29)	
	English Self-ExpressionⅡ	1後	1								兼5 兼2	産休による担当者変更, クラス数の減に伴う担当者の減 (29)	
	English for Academic PurposesⅠ	2前	1								兼5		
	English Self-ExpressionⅢ	2前	1								兼5		
	English for Academic PurposesⅡ	2後		1							兼3		
	Extensive Listening	2後		1							兼3		
	Practical English	2前		1							兼3		
	中国語Ⅰ	1・2前		1							兼1	時間割編成に伴う担当者変更 (29)	
	中国語Ⅱ	1・2前 1・2後		1							兼1	履修の順序性を考慮した配当学期の変更, 時間割編成に伴う担当者変更 (29)	
	韓国語Ⅰ	1・2後 1・2前		1							兼1	履修の順序性を考慮した配当学期の変更 (29)	
	韓国語Ⅱ	1・2後		1							兼1		
	ベトナム語Ⅰ	1・2休		1							兼1		
	ベトナム語Ⅱ	1・2休		1							兼1		
	Global StudiesⅠ	1・2前		2							兼1		
	Global StudiesⅡ	1・2後		2							兼1		
	Intercultural Communication	1・2前		2							兼1		
	全学自由ゼミ	1・2休		1							兼1	事業構想学研究科 副研究科長へ担当者変更 (29)	
	日本の歴史と文化	1・2前		2							兼1	新規専任教員採用に伴う担当者変更 (29)	

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
基 盤 教 育 科 目	世界の歴史と文化	1・2後		2							兼1	
	東北の歴史と文化	1・2後		2							兼1	新規専任教員採用に伴う担当者変更(29)
	音楽	1・2前		2							兼1	時間割編成に伴う担当者変更(29)
	美術	1・2後		2							兼1 兼3	オムニバス科目への変更に伴う担当者追加(29)
	アートサイエンス概論	1前		1							兼9	複数領域にまたがる芸術等講義科目を追加開講(29)
	総合芸術	1集中		1							兼8	芸術等科目の実習科目を追加開講(29)
	健康科学	1・2前		2							兼3	時間割編成に伴う担当者変更(29)
	スポーツ科学	1・2前		1							兼1	
	スポーツ実技	1・2前		1							兼1	
	体を動かす楽しみ	1・2後		1							兼1	
	現代社会と哲学	1・2前		2							兼1	新規専任教員採用に伴う担当者変更(29)
	人と宗教	1・2前		2							兼1	新規専任教員採用に伴う担当者変更(29)
	心理学	1・2前		2							兼1	時間割編成に伴う担当者変更(29)
	現代社会の諸相	1・2後		2			1 0				兼1	専任から兼任へ変更(29)
	憲法	1・2後		2							兼1	新規専任教員採用に伴う担当者変更(29)
	社会と経済	1・2後		2			1					
	数理科学	1・2前		2							兼1	新規専任教員採用に伴う担当者変更(29)
	生命科学	1・2前		2							兼1	
	環境科学入門	1・2後		2							兼1 兼2	オムニバス科目への変更に伴う担当者追加(29)
	地球と宇宙	1・2後		2							兼1	
	数学概論	1・2前		2							兼1 兼3	新規専任教員採用に伴う担当者変更、複数クラス開講のため担当者追加(29)
	物理概論	1・2前		2							兼1 兼2	複数クラス開講のため担当者追加(29)
	化学概論	1・2後 1・2前		2							兼1	履修の順序性を考慮した配当学期の変更、時間割編成に伴う担当者変更(29)
	生物概論	1・2後 1・2前		2							兼1	履修の順序性を考慮した配当学期の変更(29)
	基礎統計学	1後	2								兼1 兼4	複数クラス開講のため担当者追加(29)
	日本語Ⅰ	1前		1							兼1	
	日本語Ⅱ	1後		1							兼1	
	日本語Ⅲ	2前		1							兼1	
	日本語Ⅳ	2後		1							兼1	
	日本事情Ⅰ	1前		2							兼1	留学生対象科目のため国際交流・留学生センターを担当する担当者へ変更(29)
	日本事情Ⅱ	1後		2							兼1	留学生対象科目のため国際交流・留学生センターを担当する担当者へ変更(29)
全 学 目 共 通 科	コミュニティ・プランナー概論及び演習	2前		2							兼1	
	コミュニティ・プランナー実践論	2後			2						兼1	
	コミュニティ・プランナーフィールドワーク演習	3前			2						兼1	
	グローバルインターンシップ 学外研修	1・2休 1・2休		2							兼1	
専 科 門 目 基 礎	事業構想学概論	1後	2			1					兼1	兼任から専任へ変更(29)
	地域活性化とビジネス	1後	1								兼2 兼1	クラス数の減に伴う担当者の減(29)
	地域社会・産業とデザイン	1後	1								兼2 兼1	クラス数の減に伴う担当者の減(29)

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
専 門 基 礎 科 目		地域政策概論	2前	2								兼2	担当教員退職に伴う担当者変更 (29)
		ビジネスモデル論	2前	2								兼1	
		ミクロ経済学	2前	2				1					
		地域調査法	2前		2		1						
		データサイエンス	2前	2								兼1	
		応用統計処理	2前	2					1			兼1	
		キャリアデザインⅡ	2前	1			1						
		インターンシップⅠ	2前	2			1						
		法学概論	2後	2					1				
		経営学概論	2後	2			1						
		マクロ経済学	2後	2								兼1	
		社会調査法	2後		2							兼1	
		数理計画	2後		2							兼1	
		キャリア開発Ⅰ	2後	1			1						
		消費者心理学	3前		2							兼1	
		ゲーム理論	3前		2				1				
専 門 科 目	基 幹 科 目	経営戦略論	2後		2		1						兼1
		マーケティング	2後		2		1						
		ビジネスプロセスマネジメント	3前		2								
		販売促進	3前		2		1						
		ロジスティクス	3後		2							兼1	
		マーケティングリサーチ	3後		2							兼1	
		eビジネス	3後		2							兼1	
		現代企業論	4前		2		1						
	事 業 管 理 コ ー ス 基 幹 科 目	ブランディング	4前		2							兼1	
		リスクマネジメント	4前		2							兼1	
		会計学概論	2後		2			1					
		金融論	2後		2							兼1	
		経営組織論	2後		2		1						
		会計学	3前		2							兼1	
		経営財務	3前		2							兼1	
		人的資源管理論	3前		2		1						
関 連 科 目	経営情報管理	3前		2							兼1		
	企業会計	3後		2							兼1		
	税務会計	4前		2			1						
	C S R ・ 経 営 倫 理	4前		2			1						
	地域資源論	2後		2			1						
	地域社会学	2後		2		1							
	国土・地域計画	2後		2							兼1		
	地域分析学	2後		2							兼1		
	都市と文化	3前		2							兼1		
	行政学	3前		2							兼1		
	社会的共通資本	3前		2							兼1		
	計量経済学	3前		2							兼1		
	地域交流論	3後		2							兼1		
	都市計画	3後		2							兼1		
	地方自治	3後		2			1						
	コミュニティ創造	3後		2							兼1		
社 会 基 礎 科 目	交通計画	3後		2							兼1		
	地域産業政策	4前		2							兼1		
	地域環境政策	4前		2							兼1		
	地域福祉政策	4前		2							兼1		
	行政評価	4前		2			1						
	社会起業論	4前		2			1						
	防災計画	4前		2			1						
	民法	3前		2							兼1		
	公法	3前		2							兼1		
	商法・会社法	3後		2							兼1		
	知的財産管理	4前		2							兼1		

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考			
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手				
卒 業 研 究	事業プランニング演習Ⅰ	3前	2			4	5	4	2				兼3	専任教員の変更に伴う担当者の変更，研究室（ゼミ）で研究を行う学生数上限の見直しに伴う担当者の減(29)
	事業プランニング演習Ⅱ	3後	2			4	5	4	2				兼3	専任教員の変更に伴う担当者の変更，研究室（ゼミ）で研究を行う学生数上限の見直しに伴う担当者の減(29)
	卒業研究Ⅰ	4前	2			4	5	4	2				兼3	専任教員の変更に伴う担当者の変更，研究室（ゼミ）で研究を行う学生数上限の見直しに伴う担当者の減(29)
	卒業研究Ⅱ	4後	4			4	5	4	2				兼3	専任教員の変更に伴う担当者の変更，研究室（ゼミ）で研究を行う学生数上限の見直しに伴う担当者の減(29)

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て（兼任、兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時（平成28年度に認可（届出）された大学等は設置認可（届出）時より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼○」と記入してください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には、「平成○年○月 提出予定」と記入してください。）
- ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成19年度認可以前）についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設 置 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
必 修	選 択	自 由	計	必 修	選 択	自 由	計	
科目 36	科目 96	科目 2	科目 134	科目 36	科目 98	科目 2	科目 136	
				[]	[2]	[]	[2]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

<事業構想学群 事業プランニング学類>

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					

- (注) ・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{134} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点以下第2位までを記入してください。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が，「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校 舎 敷 地	66,769 m ²	-	-	66,769 m ²				
	運動場用地	26,661 m ²	-	-	26,661 m ²				
	小 計	93,430 m ²	-	-	93,430 m ²				
	そ の 他	598,964 m ²	-	-	598,964 m ²				
	合 計	692,394 m ²	-	-	692,394 m ²				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計					
	60,137 m ² (60,137m ²)	(-)	(-)	60,137 m ² (60,137m ²)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	施設改修のため(29)			
	28 27 室	36 室	33 32 室	6 室 (補助職員 人)	2 室 (補助職員 人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		施設利用方法の見直しのため (29)			
	事業構想学群 事業プランニング学類			14 16 室					
	事業構想学群 地域創生学類			14 16 室					
	事業構想学群 価値創造デザイン学類			14 15 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	蔵書見直しのため(29)	
	事業構想学群	131,373 [16,939] (123,805 [16,538]) -(101,654 [15,919])	3,268 [630] 6,031 [996] (3,250 [615]) -(4,111 [756])	16,172 [13,595] 18,000 [15,700] (16,172 [13,595]) -(18,000 [15,700])	5,130 5,084 (4,905) (4,722)	()	()		
	計	131,373 [16,939] (123,805 [16,538]) -(101,654 [15,919])	3,268 [630] 6,031 [996] (3,250 [615]) -(4,111 [756])	16,172 [13,595] 18,000 [15,700] (16,172 [13,595]) -(18,000 [15,700])	5,130 5,084 (4,905) (4,722)	()	()		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体 レイアウト見直しのため(29)		
	3,136m ²		304 300		274,889				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体		
	4,897m ²		テニスコート		メモリアルホール				
			トレーニング室						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	教員1人当たり研究費は教員数増加に伴う研究費配分の見直しのため(29) 図書購入費は一部電子ジャーナル契約終了のため(29) 設備購入費は平成29年度予算編成に伴うもの(29)
		教員 1 人 当 り 研 究 費 等	231 247千円	247千円	図書購入費	66,728千円	64,426 66,728千円	66,728千円	
		共 同 研 究 費 等	51,000千円	51,000千円	設備購入費	51,776千円	41,639 51,776千円	51,776千円	
	学生1人当り 納付金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次		
		県内 818千円 県外 1,100千円	535千円	535千円	535千円	-	-		
	学生納付金以外の維持方法の概要			大学の維持運営に当たって、学生納付金で不足する経費については、宮城県の運営費交付金等を充当する。					

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	宮城大学							備 考	
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又は 称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
事業構想学部									
事業計画学科	4	100	-	400	学士 (事業計画学)	-	平成9年度	宮城県黒川郡大和町 学苑 1 番地 1	平成29年度より 学生募集停止
デザイン情報学科	4	100	-	400	学士 (デザイン 情報学)	-	平成9年度		平成29年度より 学生募集停止
食産業学部									
ファームビジネス学科	4	42	-	168	学士 (食産業学)	-	平成17年度	宮城県仙台市太白区 旗立 2 丁目 2 番 1 号	平成29年度より 学生募集停止
フードビジネス学科	4	52	-	208	学士 (食産業学)	-	平成17年度		平成29年度より 学生募集停止
環境システム学科	4	31	-	124	学士 (食産業学)	-	平成17年度		平成29年度より 学生募集停止
看護学群									
看護学類	4	95	5	380	学士 (看護学)	1.04	平成9年度	宮城県黒川郡大和町 学苑 1 番地 1	平成29年度より 看護学部から名称変更 ※編入はH29, H30募集のみ
事業構想学群									
事業プランニング学類	4	60	-	240	学士 (事業プラン ニング学)	1.05	平成29年度	宮城県黒川郡大和町 学苑 1 番地 1	入学時は、一部の選抜区分 を除き、事業構想学群とし ての学群一括入試のため、 学群全体を各学類で按分し て記載しており、2 年次進 級時に学類を決定して収容 する。
地域創生学類	4	60	-	240	学士 (地域創生学)	1.05	平成29年度		
価値創造デザイン学類	4	80	-	320	学士 (価値創造 デザイン学)	1.05	平成29年度		
食産業学群									
食資源開発学類	4	62	-	248	学士 (食産業学)	1.03	平成29年度	宮城県仙台市太白区 旗立 2 丁目 2 番 1 号	入学時は、一部の選抜区分 を除き、食産業学群とし ての学群一括入試のため、 学群全体を各学類で按分し て記載しており、2 年次進 級時に学類を決定して収容 する。
フードマネジメント学類	4	63	-	252	学士 (食産業学)	1.05	平成29年度		
看護学研究科 看護学専攻									
博士課程前期2年課程	2	10	-	20	修士 (看護学)	0.95	平成13年度	宮城県黒川郡大和町 学苑 1 番地 1	
博士課程後期3年課程	3	3	-	9	博士 (看護学)	0.99	平成22年度		
事業構想学研究科 事業構想学専攻									
博士課程前期2年課程	2	20	-	40	修士 (事業構想学)	0.62	平成13年度	宮城県黒川郡大和町 学苑 1 番地 1	
博士課程後期3年課程	3	3	-	9	博士 (事業構想学)	0.88	平成20年度		
食産業学研究科 食産業学専攻									
博士課程前期2年課程	2	13	-	26	修士 (食産業学)	0.61	平成21年度	宮城県仙台市太白区 旗立 2 丁目 2 番 1 号	
博士課程後期3年課程	3	3	-	9	博士 (食産業学)	0.55	平成25年度		

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(A・C対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部・学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
- ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
- ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
- ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
- ・A・C対象学部等についても必ず記入してください。
- ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
- ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「―」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

＜事業構想学群 事業プランニング学類＞

(1) 担当教員表

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	金子孝一 (63)	平成29年4月	地域活性化とビジネス ビジネスモデル論					地域活性化とビジネス	クラス数の減に伴う担当者の減(29)
兼任	講師	金子孝一 (65)	平成31年4月	事業プランニング演習Ⅰ 事業プランニング演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ					事業プランニング演習Ⅰ 事業プランニング演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	研究室（ゼミ）で研究を行う学生数上限の見直しに伴う担当者の減(29)
専	教授	櫻木晃裕 (55)	平成29年4月	地域活性化とビジネス 消費者心理学 マーケティングリサーチ ビジネスモデル論					地域活性化とビジネス	クラス数の減に伴う担当者の減(29)
専	教授	福永晶彦 (51)	平成29年4月	事業プランニング演習Ⅰ 事業プランニング演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 経営組織論 人的資源管理論						
専	教授	高力美由紀 (55)	平成29年4月	事業プランニング演習Ⅰ 事業プランニング演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ キャリアデザインⅡ インターンシップⅠ キャリア開発Ⅰ キャリア開発Ⅱ インターンシップⅡ キャリア開発Ⅲ マーケティング 販売促進						
専	教授	藤澤由和 (48)	平成29年4月	事業プランニング演習Ⅰ 事業プランニング演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 地域調査法 地域社会学	兼任	教授	藤澤由和 (48)	平成29年4月	社会の中で生きる スタートアップ・セミナー アカデミック・セミナー	全学群で共通科目として授業を実施するための担当者変更(29) 学群の科目とりまとめの教員へ変更(29) 学群の科目とりまとめの教員へ変更(29)
				事業プランニング演習Ⅰ 事業プランニング演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専	教授	糟谷昌志 (49)	平成29年4月	事業プランニング演習Ⅰ 事業プランニング演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専任教員の変更に伴う担当者的変更(29)
				地域調査法 地域社会学	兼任	教授	藤澤由和 (48)	平成29年4月	地域調査法 地域社会学	専任から兼任へ変更(29)
専	准教授	佐々木秀之 (41)	平成29年4月	事業プランニング演習Ⅰ 事業プランニング演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専	教授	徳永幸之 (57)	平成29年4月	事業プランニング演習Ⅰ 事業プランニング演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専任教員の変更に伴う担当者的変更(29)
				地域資源論 社会起業論	兼任	准教授	佐々木秀之 (41)	平成29年4月	地域フィールドワーク スタートアップ・セミナー アカデミック・セミナー	学外での演習を伴うため担当者追加(29) 少人数教育実施のため担当者追加(29) 少人数教育実施のため担当者追加(29)
									地域資源論 社会起業論	専任から兼任へ変更(29)
専	准教授	石田祐 (37)	平成29年4月	事業プランニング演習Ⅰ 事業プランニング演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ					事業プランニング演習Ⅰ 事業プランニング演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	研究室（ゼミ）で研究を行う学生数上限の見直しに伴う担当者の減(29)
				現代社会の諸相 地方自治 行政評価 防災計画	兼任	准教授	石田祐 (37)	平成29年4月	スタートアップ・セミナー アカデミック・セミナー 現代社会の諸相 地方自治 行政評価 防災計画	少人数教育実施のため担当者追加(29) 少人数教育実施のため担当者追加(29)
専	准教授	内田直仁 (46)	平成29年4月	事業プランニング演習Ⅰ 事業プランニング演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ C S R ・ 経営倫理 法学概論 会計学概論 税務会計						
専	准教授	金子浩一 (44)	平成29年4月	事業プランニング演習Ⅰ 事業プランニング演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 社会と経済 ミクロ経済学 ゲーム理論						
兼任	教授	吉田俊子 (53)	平成29年4月	宮城大学の知の体系 ※						

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授	風見正三 (57)	平成29年4月	宮城大学の知の体系 ※ 地域フィールドワーク コミュニティ・プランナー概論及び演習 コミュニティ・プランナー実践論 コミュニティ・プランナーフィールドワーク演習 地域活性化とビジネス 地域政策概論 社会的共通資本 コミュニティ創造 地域環境政策						
兼任	教授	西川正純 (57)	平成29年4月	宮城大学の知の体系 ※						
兼任	教授	木村和彦 (55)	平成29年4月	大学での学び入門	兼任	教授	蒔苗耕司 (52)	平成29年4月	大学での学び入門	カリキュラムセンター教員の異動に伴う担当者変更 (29)
				スタートアップ・セミナー アカデミック・セミナー	兼任	教授	藤澤由和 (48)	平成29年4月	スタートアップ・セミナー アカデミック・セミナー	学群の科目とりまとめの教員へ変更 (29) 学群の科目とりまとめの教員へ変更 (29)
				全学自由ゼミ	兼任	教授	藤原正樹 (64)	平成29年4月	全学自由ゼミ	事業構想学研究科 副研究科長へ担当者変更 (29)
兼任	教授	徳永幸之 (57)	平成29年4月	社会の中で生きる	兼任	教授	藤澤由和 (48)	平成29年4月	社会の中で生きる	全学群で共通科目として授業を実施するための担当者変更 (29)
				事業構想学概論	専	教授	徳永幸之 (57)	平成29年4月	事業構想学概論	兼任から専任へ変更 (29)
				地域社会・産業とデザイン					地域社会・産業とデザイン	クラス数の減に伴う担当者の減 (29)
				地域政策概論 数理計画 多変量解析 国土・地域計画 交通計画					地域政策概論 数理計画 多変量解析 国土・地域計画 交通計画	兼任から専任へ変更 (29)
兼任	教授	川村保 (59)	平成29年4月	キャリアデザイン I	兼任	講師	宮崎良徳 (49)	平成29年4月	キャリアデザイン I	専門科目のキャリア教育科目を担当する担当者へ変更 (29)
兼任	教授	茅原拓朗 (48)	平成29年4月	情報化社会と技術 データサイエンス入門						
兼任	教授	MATTHEW WILSON (44)	平成29年4月	English Reading Skills I	兼任	准教授	川井一枝 (58)	平成29年4月	English Reading Skills I	全学群で共通科目として授業を実施するための担当者変更 (29)
				English Self-Expression I						新規教員採用に伴う担当者変更 (29)
				English Reading Skills II	兼任	准教授	川井一枝 (58)	平成29年4月	English Reading Skills II	新規教員採用に伴う担当者変更 (29)
				English Self-Expression II						
				English for Academic Purposes I						
				English Self-Expression III English for Academic Purposes II Extensive Listening Practical English						
兼任	教授	TIMOTHY PHELAN (59)	平成29年4月		兼任	教授	TIMOTHY PHELAN (59)	平成29年4月	日本事情 I	留学生対象科目のため国際交流・留学生センターを担当する担当者へ変更 (29)
				Global Studies I Global Studies II Intercultural Communication グローバルインターンシップ 学外研修					日本事情 II	留学生対象科目のため国際交流・留学生センターを担当する担当者へ変更 (29)
兼任	教授	長澤治夫 (64)	平成29年4月	健康科学 ※						
兼任	講師	長澤治夫 (65)	平成30年4月	健康科学 ※						
兼任	教授	真覚健 (58)	平成29年4月		兼任	教授	真覚健 (58)	平成29年4月	心理学	時間割編成に伴う担当者変更 (29)
				健康科学 ※						
兼任	教授	山田嘉明 (61)	平成29年4月	心理学	兼任	教授	真覚健 (58)	平成29年4月	心理学	時間割編成に伴う担当者変更 (29)
兼任	教授	原田茂樹 (54)	平成29年4月	環境科学入門						
兼任	教授	弓谷行宏 (61)	平成29年4月	日本語 I 日本語 II 日本語 III 日本語 IV						
				日本事情 I 日本事情 II	兼任	教授	TIMOTHY PHELAN (59)	平成29年4月	日本事情 I 日本事情 II	留学生対象科目のため国際交流・留学生センターを担当する担当者へ変更 (29) 留学生対象科目のため国際交流・留学生センターを担当する担当者へ変更 (29)
兼任	教授	蒔苗耕司 (52)	平成29年4月		兼任	教授	蒔苗耕司 (52)	平成29年4月	大学での学び入門	カリキュラムセンター教員の異動に伴う担当者変更 (29)
				地域社会・産業とデザイン						
兼任	教授	富樫敦 (60)	平成29年4月		兼任	教授	富樫敦 (60)	平成29年4月	情報化社会と技術 データサイエンス入門	複数クラス開講のため担当者追加 (29) 複数クラス開講のため担当者追加 (29)
				データサイエンス						
兼任	教授	糟谷昌志 (49)	平成29年4月	応用統計処理 地域福祉政策 社会調査法 多変量解析	専	教授	糟谷昌志 (49)	平成29年4月	応用統計処理 地域福祉政策 社会調査法 多変量解析	兼任から専任へ変更 (29)
兼任	教授	田邊信之 (60)	平成29年4月	金融論 経営財務						
兼任	教授	舟引敏明 (59)	平成29年4月		兼任	教授	舟引敏明 (59)	平成29年4月	地域フィールドワーク	学外での演習を伴うため担当者追加 (29)
				都市と文化 行政学 都市計画						

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授	郷古雅春 (57)	平成29年4月	地域産業政策	兼任	教授	郷古雅春 (57)	平成29年4月	地域フィールドワーク	学外での演習を伴うため担当者追加 (29)
兼任	教授	河西敏幸 (49)	平成29年4月	スポーツ科学 スポーツ実技 体を動かす楽しみ	兼任	教授	河西敏幸 (49)	平成29年4月	アートサイエンス概論 総合芸術	追加開講科目 (29) 追加開講科目 (29)
兼任	准教授	小島(栗田)さつき (41)	平成29年4月	English Reading Skills I	兼任	講師	莉々紀子 (40)	平成29年4月	English Reading Skills I	産休による担当者変更 (29)
				English Self-Expression I	兼任	講師	CRAIG MCDONALD (44)	平成29年4月	English Self-Expression I	産休による担当者変更 (29)
				English Reading Skills II					English Reading Skills II	クラス数の減に伴う担当者の減 (29)
				English Self-Expression II	兼任	講師	CRAIG MCDONALD (44)	平成29年4月	English Self-Expression II	産休による担当者変更 (29)
				English for Academic Purposes I English Self-Expression III English for Academic Purposes II Extensive Listening Practical English						
兼任	准教授	曾根洋明 (54)	平成29年4月		兼任	准教授	曾根洋明 (54)	平成29年4月	スタートアップ・セミナー アカデミック・セミナー	少人数教育実施のため担当者追加 (29) 少人数教育実施のため担当者追加 (29)
				English Reading Skills I						
				English Self-Expression I					English Self-Expression I	クラス数の減に伴う担当者の減 (29)
				English Reading Skills II						
				English Self-Expression II					English Self-Expression II	クラス数の減に伴う担当者の減 (29)
				English for Academic Purposes I English Self-Expression III English for Academic Purposes II Extensive Listening Practical English						
兼任	准教授	山本まゆみ (57)	平成29年4月	世界の歴史と文化						
兼任	准教授	日渡祐二 (45)	平成29年4月	生命科学 生物概論						
兼任	准教授	土岐謙次 (48)	平成29年4月		兼任	准教授	土岐謙次 (48)	平成29年4月	スタートアップ・セミナー アカデミック・セミナー アートサイエンス概論 総合芸術	少人数教育実施のため担当者追加 (29) 少人数教育実施のため担当者追加 (29) 追加開講科目 (29) 追加開講科目 (29)
				美術						
兼任	准教授	高橋信人 (40)	平成29年4月		兼任	准教授	高橋信人 (40)	平成29年4月	情報化社会と技術 基礎統計学	複数クラス開講のため担当者追加 (29) 複数クラス開講のため担当者追加 (29)
				地球と宇宙						
兼任	准教授	原田鉱一郎 (50)	平成29年4月	物理概論	兼任	准教授	原田鉱一郎 (50)	平成29年4月	基礎統計学	複数クラス開講のため担当者追加 (29)
兼任	准教授	菰田俊一 (47)	平成29年4月	化学概論	兼任	教授	笠原紳 (52)	平成29年4月	化学概論	時間割編成に伴う担当者変更 (29)
兼任	准教授	萩原潤 (45)	平成29年4月		兼任	准教授	萩原潤 (45)	平成29年4月	情報化社会と技術 データサイエンス入門	複数クラス開講のため担当者追加 (29) 複数クラス開講のため担当者追加 (29)
				基礎統計学						
兼任	准教授	白川愛子 (54)	平成29年4月	健康科学 ※	兼任	教授	石川伸一 (43)	平成29年4月	健康科学	時間割編成に伴う担当者変更 (29)
兼任	講師	佐藤麗 (41)	平成29年4月		兼任	講師	佐藤麗 (41)	平成29年4月	スタートアップ・セミナー アカデミック・セミナー	少人数教育実施のため担当者追加 (29) 少人数教育実施のため担当者追加 (29)
				English Reading Skills I						
				English Self-Expression I					English Self-Expression I	クラス数の減に伴う担当者の減 (29)
				English Reading Skills II						
				English Self-Expression II					English Self-Expression II	クラス数の減に伴う担当者の減 (29)
				English for Academic Purposes I English Self-Expression III						
兼任	講師	板明果 (43)	平成29年4月		兼任	講師	板明果 (43)	平成29年4月	スタートアップ・セミナー アカデミック・セミナー	少人数教育実施のため担当者追加 (29) 少人数教育実施のため担当者追加 (29)
				マクロ経済学 地域分析学 計量経済学						
兼任	助教	MATTHEW NALL (33)	平成29年4月	English Reading Skills I					English Reading Skills I	クラス数の減に伴う担当者の減 (29)
				English Self-Expression I					English Self-Expression I	クラス数の減に伴う担当者の減 (29)
				English Reading Skills II					English Reading Skills II	クラス数の減に伴う担当者の減 (29)
				English Self-Expression II					English Self-Expression II	クラス数の減に伴う担当者の減 (29)
				English for Academic Purposes I English Self-Expression III						
兼任	助教	物部寛太郎 (38)	平成29年4月	地理情報分析	兼任	准教授	高橋信人 (40)	平成29年4月	地理情報分析	担当者退職に伴う担当者変更 (29)
兼任	講師	藤原正樹 (66)	平成31年4月	事業プランニング演習Ⅰ 事業プランニング演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 経営情報管理 ビジネスプロセスマネジメント eビジネス					事業プランニング演習Ⅰ 事業プランニング演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	研究室(ゼミ)で研究を行う学生数上限の見直しに伴う担当者の減 (29)

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	坂本眞一郎 (66)	平成31年4月	事業プランニング演習Ⅰ 事業プランニング演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 商法・会社法 会計学 企業会計					事業プランニング演習Ⅰ 事業プランニング演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	研究室（ゼミ）で研究を行う学生数上限の見直しに伴う担当者の減(29)
兼任	講師	轟莉蔓 (48)	平成29年4月	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ	兼任	講師	西見定行 (50)	平成29年4月	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ	時間割編成に伴う担当者変更(29) 時間割編成に伴う担当者変更(29)
兼任	講師	黄考善 (49)	平成29年4月	韓国語Ⅰ 韓国語Ⅱ						
兼任	講師	VU THUY MINH CHAU (43)	平成29年4月	ベトナム語Ⅰ ベトナム語Ⅱ						
兼任	講師	伊藤大介 (43)	平成29年4月	日本の歴史と文化 東北の歴史と文化	兼任	准教授	三好俊文 (41)	平成29年4月	日本の歴史と文化 東北の歴史と文化	新規専任教員採用に伴う担当者変更(29) 新規専任教員採用に伴う担当者変更(29)
兼任	講師	佐藤寿一 (56)	平成29年4月	音楽	兼任	講師	渡部勝彦 (71)	平成29年4月	音楽	時間割編成に伴う担当者変更(29)
兼任	講師	佐藤駿 (33)	平成29年4月	現代社会と哲学	兼任	准教授	菅原謙 (52)	平成29年4月	現代社会と哲学 人と宗教	新規専任教員採用に伴う担当者変更(29) 新規専任教員採用に伴う担当者変更(29)
兼任	講師	木村敏明 (50)	平成29年4月	人と宗教						
兼任	講師	曾我洋介 (39)	平成29年4月	憲法	兼任	講師	仲宗根卓 (35)	平成29年4月	憲法	新規専任教員採用に伴う担当者変更(29)
兼任	講師	小野秀壽 (63)	平成29年4月	数理科学 数学概論	兼任	准教授	三浦幸平 (39)	平成29年4月	数理科学 数学概論	新規専任教員採用に伴う担当者変更(29) 新規専任教員採用に伴う担当者変更(29)
兼任	講師	苦瀬博仁 (67)	平成31年4月	ロジスティクス リスクマネジメント						
兼任	講師	酒井茂孝 (66)	平成32年4月	ブランディング						
兼任	講師	庄子真岐 (40)	平成31年4月	地域交流論						
兼任	講師	篠塚功照 (44)	平成31年4月	民法						
兼任	講師	稲村健太郎 (40)	平成31年4月	公法						
兼任	講師	鈴木康夫 (68)	平成32年4月	知的財産管理						
					兼任	教授	平岡善浩 (50)	平成29年4月	地域フィールドワーク スタートアップ・セミナー アカデミック・セミナー	学外での演習を伴うため担当者追加(29) 少人数教育実施のため担当者追加(29) 少人数教育実施のため担当者追加(29)
					兼任	准教授	千葉克己 (46)	平成29年4月	地域フィールドワーク	学外での演習を伴うため担当者追加(29)
					兼任	准教授	三浦幸平 (39)	平成29年4月	基礎統計学 地域フィールドワーク	複数クラス開講のため担当者追加(29) 学外での演習を伴うため担当者追加(29)
					兼任	准教授	菅原謙 (52)	平成29年4月	地域フィールドワーク	学外での演習を伴うため担当者追加(29)
					兼任	准教授	三好俊文 (41)	平成29年4月	地域フィールドワーク	学外での演習を伴うため担当者追加(29)
					兼任	講師	仲宗根卓 (35)	平成29年4月	地域フィールドワーク	学外での演習を伴うため担当者追加(29)
					兼任	教授	須栗裕樹 (53)	平成29年4月	情報化社会と技術 データサイエンス入門	複数クラス開講のため担当者追加(29) 複数クラス開講のため担当者追加(29)
					兼任	教授	秋月治 (62)	平成29年4月	情報化社会と技術 データサイエンス入門	複数クラス開講のため担当者追加(29) 複数クラス開講のため担当者追加(29)
					兼任	教授	中田千彦 (48)	平成29年4月	アートサイエンス概論 総合芸術	追加開講科目(29) 追加開講科目(29)
					兼任	教授	鹿野護 (44)	平成29年4月	アートサイエンス概論	追加開講科目(29)
					兼任	教授	笠原紳 (52)	平成29年4月	環境科学入門	オムニバス科目への変更に伴う担当者追加(29)
					兼任	教授	神宮宇寛 (48)	平成29年4月	物理概論	複数クラス開講のため担当者追加(29)
					兼任	講師	渡部勝彦 (71)	平成29年4月	アートサイエンス概論 総合芸術	追加開講科目(29) 追加開講科目(29)
					兼任	講師	相澤富美江 (52)	平成29年4月	アートサイエンス概論 総合芸術	追加開講科目(29) 追加開講科目(29)
					兼任	講師	高山登 (72)	平成29年4月	アートサイエンス概論 美術 総合芸術	追加開講科目(29) オムニバス科目への変更に伴う担当者追加(29) 追加開講科目(29)
					兼任	講師	青野文昭 (49)	平成29年4月	アートサイエンス概論 美術 総合芸術	追加開講科目(29) オムニバス科目への変更に伴う担当者追加(29) 追加開講科目(29)

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
					兼任	講師	渡辺誠一郎 (66)	平成29年4月	アートサイエンス概論 総合芸術	追加開講科目(29)
					兼任	講師	上野晴夫 (62)	平成29年4月	数学概論	追加開講科目(29)
					兼任	講師	里見宗久 (66)	平成29年4月	数学概論	複数クラス開講のため担当者追加(29)

(注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
- ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
- ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成29年5月1日現在の満年齢を記入してください。
- ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
- ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
8 名	4 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教 授	准教授	講 師	助 教	計	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)
4	4	0	0	8	6	2	0	0	8	5	2	0	0	7
(5)	(4)	(0)	(0)	(9)						[1]	[△2]	[0]	[0]	[△1]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入する[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（A））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

＜事業構想学群 事業プランニング学類＞

(3) 専任教員辞任等の理由

(3)－① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由		
該当なし								
合 計（Ａ）					後任補充状況の集計（Ｂ）			
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
該当なし								

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3)－②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3)－② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由		
該当なし								
合 計（A）					後任補充状況の集計（B）			
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
該当なし								

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記(3)－① ・ (3)－② の合計

合計（Ａ）＋（Ｃ）		後任補充状況の集計（Ｂ）＋（Ｄ）		
辞任等した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）	①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
該当なし				

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (H28年4月)	該当なし			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<事業構想学群 事業プランニング学類>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

平成28年4月より、教育推進機構を設置し、全学的な教学マネジメントを実施している。特に機構下部組織のカリキュラムセンターが教員の資質の維持向上の方策について所掌しており、授業評価アンケート、シラバスの改善、FD・SDの企画・運営を行っている。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

<カリキュラムセンター運営会議>

平成28年度は13回開催

- 第1回 平成28年4月27日
- 第2回 平成28年5月11日
- 第3回 平成28年5月25日
- 第4回 平成28年6月22日
- 第5回 平成28年7月27日
- 第6回 平成28年8月24日
- 第7回 平成28年9月28日
- 第8回 平成28年10月26日
- 第9回 平成28年11月30日
- 第10回 平成28年12月21日
- 第11回 平成29年1月25日
- 第12回 平成29年2月21日
- 第13回 平成29年3月22日

c 委員会の審議事項等

<カリキュラムセンター運営会議>

平成28年度

- 第1回 平成28年4月27日
 - 1 役割分担と今後のスケジュール等について
 - 2 ディプロマ・カリキュラム・アドミッションポリシーの策定について
 - 3 平成28年度前期授業評価等について
 - 4 フレッシュマンコア等の教材開発の進捗について
 - 5 文部科学省への届出等の提出について
 - 6 文部科学省補助事業「AP事業」の申請について
- 第2回 平成28年5月11日
 - 1 科目分野別課題共有
 - 2 平成28年度前期授業評価等について

- 第3回 平成28年5月25日
- 1 カリキュラムセンターの主項目及び科目分野別業務工程表について
 - 2 ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー策定について
 - 3 科目分野別の課題について
 - 4 基盤教育科目の教材開発について
 - 5 平成28年度 FD・SDの実施計画について
 - 6 学類選択スキームと成績評価等（GPA）について
- 第4回 平成28年6月22日
- 1 ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー（案）について
 - 2 各学群での取得可能資格の申請手続き等について
 - 3 学類選択フローの考え方について
 - 4 新カリキュラム（フレッシュマンコア）科目担当教員の配置と教材開発等について
 - 5 平成28年度補正予算・平成29年度当初予算策定に向けて
 - 6 平成29年度非常勤教員任用方針及び予算編成について
 - 7 平成28年度 FD・SDの実施計画について
 - 8 平成28年度前期 授業評価アンケート実施について
 - 9 3大学連携について
- 第5回 平成28年7月27日
- 1 シラバス記載要領について
 - 2 キャリア教育、インターシップ分野について
 - 3 ナチュラルサイエンス分野について
 - 4 グローバルコミュニケーション（英語）について
 - 5 教材開発について
 - 6 大学における教材開発に関するコンテンツの課題等について
- 第6回 平成28年8月24日
- 1 シラバス記載要領について
 - 2 地域フィールドワーク分野について
 - 3 情報科学分野について
 - 4 カリキュラムセンター工程表及び分野別工程表と予算について
 - 5 学類選択他、規程、制度、仕組みの検討について
- 第7回 平成28年9月28日
- 1 部門別の進捗状況について（教育の具現化に向けて）
 - 2 教材開発の進捗状況について
 - 3 新シラバス作成の具体化と学修指導体制の確立にむけて
 - 4 新履修規程策定、成績評価方法の具体的検討について
 - 5 H28年度前期 授業評価結果（速報版）と授業改善、フィードバック等について
 - 6 H28年度前期 成績評価（分野、科目、専門）を踏まえての課題、改善について
 - 7 全学SDの結果報告、その活用及び今後のSD計画について
- 第8回 平成28年10月26日
- 1 基盤教育科目シラバス（案）のフィードバックと修正ポイント、スケジュールについて
 - 2 平成29年度カリキュラム及び時間割編成の考え方について
 - 3 平成29年度入学生のパソコン必携の対応について
 - 4 新カリキュラム履修規程（案）策定のポイントと今後のスケジュールについて
 - 5 現カリキュラム科目の新カリキュラム読替検討について
 - 6 地域フィールドワークについて
- 第9回 平成28年11月30日
- 1 平成29年度からのカリキュラム編成方針及び時間割編成方針（案）について
 - 2 新カリキュラム履修規程（案）について
 - 3 現カリキュラム科目の新カリキュラム読替について
 - 4 基盤教育科目シラバス（第二次案）及び専門科目シラバス（案）のフィードバックと今後のスケジュールについて
 - 5 平成29年度年度計画策定・予算作成及び平成28年度年度計画暫定実績について
 - 6 3公立大学連携事業及び12月17日（土）開催シンポジウムについて
 - 7 平成28年度前期授業評価後の改善計画等について
 - 8 地域フィールドワークの進捗について
- 第10回 平成28年12月21日
- 1 新カリキュラム履修規程（案）について
 - 2 平成29年度カリキュラム編成方針及び基盤教育時間割編成方針（案）について
 - 3 基盤教育科目シラバス（第三次案）及び専門科目シラバス（第二次案）のフィードバックと今後のスケジュールについて
 - 4 現カリキュラム科目の新カリキュラム読替について（食産業学部の確認）
 - 5 平成29年度年度計画策定（案）・予算（案）及び平成28年度年度計画暫定実績（案）について
 - 6 平成28年度前期授業評価後の改善計画等について（基盤教育関係）
 - 7 地域フィールドワークの進捗について

第11回 平成29年1月25日

- 1 <新カリキュラム>宮城大学履修規程（案）について
- 2 シラバスについて
- 3 各科目の学修指導及び成績評価について
- 4 授業評価及び授業改善計画について
- 5 新カリキュラム科目における資格申請等について
- 6 平成29年度年度計画策定（案）・予算（案）及び
平成28年度年度計画暫定実績（案）について
- 7 地域フィールドワークの進捗について

第12回 平成29年2月21日

- 1 宮城大学履修規程及び宮城大学学則の改正について
- 2 現カリキュラム科目の新カリキュラム読替について
- 3 各学部の授業改善計画について
- 4 新カリキュラム科目のシラバスについて
- 5 学位規則の改正について
- 6 他学群・他学類等授業科目の履修実施要綱について
- 7 その他
- 8 今後の授業評価等の方途について
- 9 各週の時間割について
- 10 地域フィールドワークの進捗について
- 11 教材（スタートアップセミナー／アカデミックセミナー）、MAPについて

第13回 平成29年3月22日

- 1 宮城大学学則、宮城大学履修規程、他要綱の制定、改正確定版について
- 2 1の制定・改正による下位要綱等の検討
- 3 各学部のH28年度前期授業改善計画の学生への公表及び
H28年度後期授業改善、H29年度の授業評価について
- 4 H29年度高大接続連携事業年度計画及び連絡協議会設置について
- 5 H29年度3公立大学連携事業・奈良県立大学とのパイロットプログラムについて
- 6 各学群の資格申請結果等について
- 7 地域フィールドワークの進捗について
- 8 宮城大学アカデミックポートフォリオ（MAP）の
学生への利用方法の周知及び専用バインダーの配布について
- 9 H29年度カリキュラムセンターの事業等の計画策定について

② 実施状況

a 実施内容

b 実施方法

c 開催状況（教員の参加状況含む）

○全学SD「教職協働で取り組む学生一人ひとりの学修支援に向けて」

- ・平成28年8月22日（月）開催
- ・役員8/8，教員92/131，事務職員43/52，合計143/191名参加
- ・講演及びワークショップを実施。後日グループレポート，個人レポートを提出（提出率82%）

○スタートアップ・セミナー実施に向けたワークショップ

- ・平成28年12月7日（水），平成29年2月23日（木）開催
- ・教員34名（延べ）参加
- ・ワークショップ形式による，指導方法に関する相互学習及び開発，ルーブリックの開発等

○全学FD「新教育課程でのインターンシップ」

- ・平成28年11月16日（水）開催
- ・役員8/8，教員62/131，事務職員45/55，合計115/194名参加
- ・学外講師による講演，学内講師による新課程での運営方法説明

○看護学部FD「卒後も学び続ける人材育成につなげる看護学群」

- ・平成28年8月10日（水）開催
- ・看護学部教員46/50名出席
- ・グループワーク形式

○事業構想学部FD「フレッシュマンコア科目の概要と検討状況について」

- ・平成29年2月8日（水）開催
- ・事業構想学部教員28/34名出席
- ・新課程に向けた情報共有と意見交換

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

平成29年度からの新課程に向けた授業の改善と学生に対する指導体制の在り方を中心に平成28年度は取り組んだ。8月に開催した全学SDでは、平成29年4月1日SD義務化の大学設置基準の改正に先立ち、全ての理事、教員及び事務職員を対象として、あるべき大学の姿や求められる学生サービスについて活発な議論を実施した。このSDでは、個人レポートに加えグループレポートも全員に課すことにより、各部門で発案されたテーマに基づきながら教育改善、授業改善に結びついたFD活動が発展的に実施された。

平成29年度からは、FD・SD活動をカリキュラムセンターがより主体的に企画運営し、3学群とも連携を強めながら、さらに体系的な教育改善・組織改善の体制を整備することとしている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

平成28年度前期末（7月～8月）および後期末（2月～3月）にウェブ上でアンケートを実施した。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・ 授業評価結果に基づき、各担当教員が授業改善計画を作成し、授業評価結果と併せて学内で公開。
- ・ 各教育課程（学部）全体での授業改善に向けた取組の実施計画を学部長が作成。
- ・ 上記の計画に基づき、平成29年度の授業が実施されているかカリキュラムセンターおよび第三者による確認を実施予定。
- ・ 学生の学修到達度を把握し、授業科目や教育課程それぞれの教育効果を測定できるよう、新しい授業評価アンケートシステムの導入に向けて準備を進めている。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

事業プランニング学類では、人間の行動原理、経済システムの挙動等に関する基本的理論を踏まえ、現実の社会で顕在化している諸問題を分析し、地域資源の活用や新たな価値創造も志向することにより、効率的かつ持続的なビジネスモデルの構築と運営を担える人材を育成することを目的としている。

設置初年度の現段階では、新たに導入したフレッシュマンコアを中心とした基盤教育科目を開講しているが、1年後期からは、学類共通の専門基礎科目として「事業構想学総論」「地域活性化とビジネス」「地域社会・産業とデザイン」の3科目を開講する。こうした学群共通科目の展開により、2年次進級時の「学類選択・決定」の指針となり、かつ、学生自身が進む学類での体系化されたカリキュラムにつながる学修を初年次から深めていく。

カリキュラム編成にあたっては、教育推進機構の下に組織されたカリキュラムセンターが教学マネジメントの役割を担い、まず基盤教育の編成方針がより明確になるよう「ディプロマポリシー」、「カリキュラムポリシー」を策定した。また、その方針に基づき、基盤教育の基幹科目となるフレッシュマンコア科目の実施に向け、オリジナル教材の開発やルーブリックをはじめとする成績評価基準の策定等の整備をしてきた。

しかし、今年度より導入された「学群・学類・学系制」のメリットを最大限に生かし、学群・学類の垣根を超えて、基盤教育カリキュラムの運営実施・検証・改善に責任を持つ組織として「基盤教育群」を新設し、群長のもと教授会を立ち上げた。まさに、設置の趣旨で掲げた基盤教育の骨太化を具現化するための組織体制強化である。

以上のように、設置計画に基づき、設置の趣旨・目的が実現できるよう、全学を挙げて、着実に取り組みを進めているところである。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・ 本学では、中期目標期間の第5年度に合わせて6年周期として認証評価を受けることとしており、その前年度に、それまでの自己点検・評価をまとめ報告書として作成している。
- ・ 独立行政法人化の最初の認証評価は平成25年度であったため、上記のタームに基づき平成24年度末（25年3月）に自己点検・評価報告書を作成し、ホームページにおいて公表している。
- ・ 次回は平成31年度に認証評価を受審予定であり、その前年度である平成30年度末までに、それまでの自己点検・評価をまとめて評価報告書を作成することとしている。

b 公表方法

- ・ 本学ウェブサイトにて公表している。 <http://www.myu.ac.jp/site/co/25ninshou.html>

③ 認証評価を受ける計画

- ・ 平成25年度に、公益財団法人大学基準協会による大学評価を受け、その結果、本学は大学基準に適合していることが認定された。
- ・ 次回は平成31年度に認証評価を受審予定である。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (2017年5月31日)

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

公立大学法人宮城大学

(2) 大 学 名

宮城大学

(3) 大学の位置

〒981-3298

宮城県黒川郡大和町学苑1番地1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(ニシガキ マサル) 西垣 克 (平成23年4月)	(カワカミ ノブアキ) 川上 伸昭 (平成29年4月)	任期満了によりH28.11.1 学長選考会議にて選出 (29)
学 長	(ニシガキ マサル) 西垣 克 (平成23年4月)	(カワカミ ノブアキ) 川上 伸昭 (平成29年4月)	任期満了によりH28.11.1 学長選考会議にて選出 (29)
学 部 長		(カザミ ショウゾウ) 風見 正三 (平成29年4月)	届出時には学群長が未定 であったが、学内規程に よりH29.3.22定例理事会 にて決定(29)
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成26年度開設の4年制の学科の場合(平成29年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
事業構想学群 地域創生学類 学士(地域創生学)	経済学関係, 工学関係	4年	60人	-	240人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	60 (-) [5]	-	- (-) [-]	-	- (-) [-]	-	- (-) [-]	-	- (-) [-]	-	1.05倍	入学時は, 一部の選抜区分を除き, 事業構想学群としての学群一括入試のため, 学群全体を各学類で按分して記載しており, 2年次進級時に学類を決定して収容する。なお, 入学時に学類が決定している学生は, A0入試区分入学者8名である。(29)
志願者数	214 (-) [2]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]		
受験者数	147 (-) [2]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]		
合格者数	64 (-) [0]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]		
B 入学者数	63 (-) [0]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]		
入学定員超過率 B/A	1.05		-		-		-		-			

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年度で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ [] 内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	対象年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	63 [0] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	1年次の在学者については、一部の選抜区分を除き、事業構想学群としての学群一括入試のため、学群全体を各学類で按分して記載しており、2年次進級時に学類を決定して収容する。 なお、入学時に学類が決定している学生は、AO入試区分入学者8名である。(29)
2年次			- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
3年次					- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
4年次							- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
計							- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成29年度 入学者	210 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
			平成32年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	0 人	平成30年度	人	人		#DIV/0! %
			平成31年度	人	人		
			平成32年度	人	人		
平成31年度 入学者	人	0 人	平成31年度	人	人		#DIV/0! %
			平成32年度	人	人		
平成32年度 入学者	人	人	平成32年度	人	人		#DIV/0! %
合 計	210 人	0 人					0.00 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<事業構想学群 地域創生学類>

(1) 授業科目表

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数				専任教員等の配置						備 考	
			必	修	選	択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
基 盤 教 育 科 目	宮城大学の知の体系	1前	2				1						兼2	
	大学での学び入門	1前	1										兼1	カリキュラムセンター教員の異動に伴う担当者変更 (29)
	社会の中で生きる	1前	1				1							全学群で共通科目として授業を実施するための担当者変更 (29)
	キャリアデザインⅠ	1後	1										兼1	専門科目のキャリア教育科目を担当する担当者へ変更 (29)
	スタートアップ・セミナー	1前	2				1	2	1				兼1 兼4	少人数教育実施のため担当者追加 (29)
	アカデミック・セミナー	1後	2				1	2	1				兼1 兼4	少人数教育実施のため担当者追加 (29)
	地域フィールドワーク	1前	2				4	3	2				兼5	学外での演習を伴うため担当者追加 (29)
	情報化社会と技術	1後	2										兼1 兼5	複数クラス開講のため担当者追加 (29)
	データサイエンス入門	1前	2										兼1 兼5	全学群で共通科目として授業を実施するための担当者変更、複数クラス開講のため担当者追加 (29)
	English Reading SkillsⅠ	1前	1										兼5 兼4	新規教員採用に伴う担当者変更、座休による担当者変更、クラス数の減に伴う担当者の減 (29)
	English Self-ExpressionⅠ	1前	1										兼5 兼2	座休による担当者変更、クラス数の減に伴う担当者の減 (29)
	English Reading SkillsⅡ	1後	1										兼5 兼3	新規教員採用に伴う担当者変更、クラス数の減に伴う担当者の減 (29)
	English Self-ExpressionⅡ	1後	1										兼5 兼2	座休による担当者変更、クラス数の減に伴う担当者の減 (29)
	English for Academic PurposesⅠ	2前	1										兼5	時間割編成に伴う担当者変更 (29)
	English Self-ExpressionⅢ	2前	1										兼5	
	English for Academic PurposesⅡ	2後		1									兼3	
	Extensive Listening	2後		1									兼3	
	Practical English	2前		1									兼3	
	中国語Ⅰ	1・2前		1									兼1	時間割編成に伴う担当者変更 (29)
	中国語Ⅱ	1・2前 1・2後		1									兼1	履修の順序性を考慮した配当学期の変更、時間割編成に伴う担当者変更 (29)
	韓国語Ⅰ	1・2後 1・2前		1									兼1	履修の順序性を考慮した配当学期の変更 (29)
	韓国語Ⅱ	1・2後		1									兼1	事業構想学研究科 副研究科長へ担当者変更 (29)
	ベトナム語Ⅰ	1・2休		1									兼1	
	ベトナム語Ⅱ	1・2休		1									兼1	
	Global StudiesⅠ	1・2前		2									兼1	
	Global StudiesⅡ	1・2後		2									兼1	新規専任教員採用に伴う担当者変更 (29)
	Intercultural Communication	1・2前		2									兼1	
全学自由ゼミ	1・2休		1									兼1		
日本の歴史と文化	1・2前		2									兼1		
世界の歴史と文化	1・2後		2									兼1	新規専任教員採用に伴う担当者変更 (29)	
東北の歴史と文化	1・2後		2									兼1	新規専任教員採用に伴う担当者変更 (29)	
音楽	1・2前		2									兼1	時間割編成に伴う担当者変更 (29)	
美術	1・2後		2									兼1 兼3	オムニバス科目への変更に伴う担当者追加 (29)	

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
基 盤 教 育 科 目	アートサイエンス概論	1前		1							兼9 複数領域にまたがる芸術等講義科目を追加開講(29)
	総合芸術	1集中		1							兼8 芸術等科目の実習科目を追加開講(29)
	健康科学	1・2前		2							兼3 時間割編成に伴う担当者変更(29)
	スポーツ科学	1・2前		1							兼1
	スポーツ実技	1・2前		1							兼1
	体を動かす楽しみ	1・2後		1							兼1
	現代社会と哲学	1・2前		2							兼1 新規専任教員採用に伴う担当者変更(29)
	人と宗教	1・2前		2							兼1 新規専任教員採用に伴う担当者変更(29)
	心理学	1・2前		2							兼1 時間割編成に伴う担当者変更(29)
	現代社会の諸相	1・2後		2			1				兼4 兼担から専任へ変更(29)
	憲法	1・2後		2							兼1 新規専任教員採用に伴う担当者変更(29)
	社会と経済	1・2後		2							兼1 新規専任教員採用に伴う担当者変更(29)
	数理科学	1・2前		2							兼1
	生命科学	1・2前		2							兼1
	環境科学入門	1・2後		2							兼4 兼2 オムニバス科目への変更に伴う担当者追加(29)
	地球と宇宙	1・2後		2			1				兼4 兼担から専任へ変更(29)
	数学概論	1・2前		2							兼4 兼3 新規専任教員採用に伴う担当者変更、複数クラス開講のため担当者追加(29)
	物理概論	1・2前		2							兼4 兼2 複数クラス開講のため担当者追加(29)
	化学概論	1・2後 1・2前		2							兼1 履修の順序性を考慮した配当学期の変更、時間割編成に伴う担当者変更(29)
	生物概論	1・2後 1・2前		2							兼1 履修の順序性を考慮した配当学期の変更(29)
	基礎統計学	1後	2				1				兼4 兼3 複数クラス開講のため担当者追加(29)
	日本語Ⅰ	1前		1							兼1
	日本語Ⅱ	1後		1							兼1
	日本語Ⅲ	2前		1							兼1
	日本語Ⅳ	2後		1							兼1
	日本事情Ⅰ	1前		2							兼1 留学生対象科目のため国際交流・留学生センターを担当する担当者へ変更(29)
	日本事情Ⅱ	1後		2							兼1 留学生対象科目のため国際交流・留学生センターを担当する担当者へ変更(29)
全 学 目 共 通 科	コミュニティ・プランナー概論及び演習	2前		2		1					
	コミュニティ・プランナー実践論	2後		2		1					
	コミュニティ・プランナーフィールドワーク演習	3前		2		1					
	グローバルインターンシップ	1・2休		2							兼1
	学外研修	1・2休		2							兼1
専 門 基 礎 科 目	事業構想学概論	1後	2			4					兼1 専任から兼任へ変更(29)
	地域活性化とビジネス	1後	1			1					兼4 クラス数の減に伴う担当者の減(29)
	地域社会・産業とデザイン	1後	1			4					兼1 クラス数の減に伴う担当者の減(29)
	地域政策概論	2前	2			2					
	ビジネスモデル論	2前	2								兼1
	ミクロ経済学	2前	2								兼1
	地域調査法	2前	2	2							兼1
	データサイエンス	2前	2								兼1
	応用統計処理	2前	2			1					
	キャリアデザインⅡ	2前	1								兼1
	インターンシップⅠ	2前	2								兼1
	法学概論	2後	2								兼1
	経営学概論	2後	2								兼1
	マクロ経済学	2後	2					1			
	社会調査法	2後	2			1					
	数理計画	2後	2			1					
	キャリア開発Ⅰ	2後	1								兼1
	消費者心理学	3前	2								兼1
	ゲーム理論	3前	2								兼1
	地理情報分析	3前	2					1	4		物部助教退職に伴う、高橋准教授への担当変更(29)
	多変量解析	3前	2			2					
	キャリア開発Ⅱ	3前	1								兼1
	インターンシップⅡ	3前	2								兼1
	キャリア開発Ⅲ	3後	1								兼1

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
専門科目	基幹科目	地域資源論	2後		2							兼1	
		地域社会学	2後		2							兼1	
		国土・地域計画	2後		2		1						
		都市と文化	3前		2		1						
		行政学	3前		2		1						
		社会的共通資本	3前		2		1						
		地域交流論	3後		2							兼1	
		都市計画	3後		2		1					兼1	
		地方自治	3後		2								
		コミュニティ創造	3後		2		1						
		地域産業政策	4前		2		1						
		地域環境政策	4前		2		1						
		地域福祉政策	4前		2		1						
		行政評価	4前		2							兼1	
		社会起業論	4前		2							兼1	
	地域科学コース基幹科目	地域分析学	2後		2				1				
		計量経済学	3前		2				1				
		環境心理・行動学	3前		2							兼1	
		水資源利用学	3前		2		1						
		災害の科学（水）	3前		2		1						
		交通計画	3後		2		1						
		景観工学	3後		2		1						
		環境衛生工学	3後		2							兼1	
		災害の科学（土）	3後		2			1					
		地区・街区計画	4前		2		1						
		防災計画	4前		2							兼1	
	共通関連科目	経営戦略論	2後		2							兼1	
		マーケティング	2後		2							兼1	
		会計学概論	2後		2							兼1	
		金融論	2後		2							兼1	
		経営組織論	2後		2							兼1	
		ビジネスプロセスマネジメント	3前		2							兼1	
		販売促進	3前		2							兼1	
		会計学	3前		2							兼1	
		経営財務	3前		2							兼1	
		人的資源管理論	3前		2							兼1	
		経営情報管理	3前		2							兼1	
		ロジスティクス	3後		2							兼1	
		マーケティングリサーチ	3後		2							兼1	
		eビジネス	3後		2							兼1	
		企業会計	3後		2							兼1	
		現代企業論	4前		2							兼1	
		ブランディング	4前		2							兼1	
		リスクマネジメント	4前		2							兼1	
		税務会計	4前		2							兼1	
		C S R ・ 経営倫理	4前		2							兼1	
専門科目	社会基盤科目	民法	3前		2							兼1	
		公法	3前		2							兼1	
		商法・会社法	3後		2							兼1	
		建築法規・環境法規	3後		2							兼1	
		知的財産管理	4前		2							兼1	
	生活基盤科目	建築史	2後		2							兼1	
		構造力学Ⅰ	3前		2							兼1	
		材料学	3前		2							兼1	
		建築計画	3前		2							兼1	
		生活環境工学	3前		2							兼1	
		ユニバーサルデザイン	3前		2							兼1	
		水理学	3前		2		1						
		構造力学Ⅱ	3後		2							兼1	
		建築一般構造	3後		2							兼1	
		施行技術	3後		2							兼1	
		建築設備	3後		2							兼1	
		構造力学演習	3後		1							兼1	
		地盤工学	3後		2			1					
		インテリアデザイン	4前		2							兼1	
		建築コスト	4前		2							兼1	
		耐震設計法	4前		2							兼1	
		ファシリティマネジメント	4前		2		1					兼1	
		サスティナブルデザイン	4前		2			1				兼1	
		測量	4前		2							兼1	

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	
卒 業 研 究	地域創生演習Ⅰ	3前	2			5	4	1	4	0	専任教員の変更にともなう担当者の変更(29)
	地域創生演習Ⅱ	3後	2			5	4	1	4	0	専任教員の変更にともなう担当者の変更(29)
	卒業研究Ⅰ	4前	2			5	4	1	4	0	専任教員の変更にともなう担当者の変更(29)
	卒業研究Ⅱ	4後	4			5	4	1	4	0	専任教員の変更にともなう担当者の変更(29)

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼○」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成○年○月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設 置 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
必 修	選 択	自 由	計	必 修	選 択	自 由	計	
科目 36	科目 125	科目 0	科目 161	科目 36	科目 127	科目 0	科目 163	
				[]	[2]	[]	[2]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

<事業構想学群 地域創生学類>

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					

- (注) ・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{161} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点以下第2位までを記入してください。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が，「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校 舎 敷 地	66,769 m ²	-	-	66,769 m ²				
	運動場用地	26,661 m ²	-	-	26,661 m ²				
	小 計	93,430 m ²	-	-	93,430 m ²				
	そ の 他	598,964 m ²	-	-	598,964 m ²				
	合 計	692,394 m ²	-	-	692,394 m ²				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計					
	60,137 m ² (60,137m ²)	- (-)	- (-)	60,137 m ² (60,137m ²)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	施設改修のため(29)			
	28 27 室	36 室	33 32 室	6 室 (補助職員 人)	2 室 (補助職員 人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		施設利用方法の見直しのため (29)			
	事業構想学群 事業プランニング学類			14 16 室					
	事業構想学群 地域創生学類			14 16 室					
	事業構想学群 価値創造デザイン学類			14 15 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	蔵書見直しのため(29)	
	事業構想学群	131,373 [16,939] (123,805 [16,538]) -(101,654 [15,919])	3,268 [630] 6,031 [996] (3,250 [615]) -(4,111 [756])	16,172 [13,595] 18,000 [15,700] (16,172 [13,595]) -(18,000 [15,700])	5,130 5,084 (4,905) (4,722)	()	()		
	計	131,373 [16,939] (123,805 [16,538]) -(101,654 [15,919])	3,268 [630] 6,031 [996] (3,250 [615]) -(4,111 [756])	16,172 [13,595] 18,000 [15,700] (16,172 [13,595]) -(18,000 [15,700])	5,130 5,084 (4,905) (4,722)	()	()		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体 レイアウト見直しのため(29)		
	3,136m ²		304 300		274,889				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体		
	4,897m ²		テニスコート		メモリアルホール				
			トレーニング室						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	教員1人当たり研究費は教員数増加に伴う研究費配分の見直しのため(29) 図書購入費は一部電子ジャーナル契約終了のため(29) 設備購入費は平成29年度予算編成に伴うもの(29)
		教員 1 人 当 り 研 究 費 等	231 247千円	247千円	図書購入費	66,728千円	64,426 66,728千円	66,728千円	
		共 同 研 究 費 等	51,000千円	51,000千円	設備購入費	51,776千円	41,639 51,776千円	51,776千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		県内 818千円 県外 1,100千円	535千円	535千円	535千円	-	-		
	学生納付金以外の維持方法の概要		大学の維持運営に当たって、学生納付金で不足する経費については、宮城県の運営費交付金等を充当する。						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	宮城大学							備 考	
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又は 称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
事業構想学部									
事業計画学科	4	100	-	400	学士 (事業計画学)	-	平成9年度	宮城県黒川郡大和町 学苑 1 番地 1	平成29年度より 学生募集停止
デザイン情報学科	4	100	-	400	学士 (デザイン 情報学)	-	平成9年度		平成29年度より 学生募集停止
食産業学部									
ファームビジネス学科	4	42	-	168	学士 (食産業学)	-	平成17年度	宮城県仙台市太白区 旗立 2 丁目 2 番 1 号	平成29年度より 学生募集停止
フードビジネス学科	4	52	-	208	学士 (食産業学)	-	平成17年度		平成29年度より 学生募集停止
環境システム学科	4	31	-	124	学士 (食産業学)	-	平成17年度		平成29年度より 学生募集停止
看護学群									
看護学類	4	95	5	380	学士 (看護学)	1.04	平成9年度	宮城県黒川郡大和町 学苑 1 番地 1	平成29年度より 看護学部から名称変更 ※編入はH29, H30募集のみ
事業構想学群									
事業プランニング学類	4	60	-	240	学士 (事業プラン ニング学)	1.05	平成29年度	宮城県黒川郡大和町 学苑 1 番地 1	入学時は、一部の選抜区分 を除き、事業構想学群とし ての学群一括入試のため、 学群全体を各学類で按分し て記載しており、2 年次進 級時に学類を決定して収容 する。
地域創生学類	4	60	-	240	学士 (地域創生学)	1.05	平成29年度		
価値創造デザイン学類	4	80	-	320	学士 (価値創造 デザイン学)	1.05	平成29年度		
食産業学群									
食資源開発学類	4	62	-	248	学士 (食産業学)	1.03	平成29年度	宮城県仙台市太白区 旗立 2 丁目 2 番 1 号	入学時は、一部の選抜区分 を除き、食産業学群とし ての学群一括入試のため、 学群全体を各学類で按分し て記載しており、2 年次進 級時に学類を決定して収容 する。
フードマネジメント学類	4	63	-	252	学士 (食産業学)	1.05	平成29年度		
看護学研究科 看護学専攻									
博士課程前期2年課程	2	10	-	20	修士 (看護学)	0.95	平成13年度	宮城県黒川郡大和町 学苑 1 番地 1	
博士課程後期3年課程	3	3	-	9	博士 (看護学)	0.99	平成22年度		
事業構想学研究科 事業構想学専攻									
博士課程前期2年課程	2	20	-	40	修士 (事業構想学)	0.62	平成13年度	宮城県黒川郡大和町 学苑 1 番地 1	
博士課程後期3年課程	3	3	-	9	博士 (事業構想学)	0.88	平成20年度		
食産業学研究科 食産業学専攻									
博士課程前期2年課程	2	13	-	26	修士 (食産業学)	0.61	平成21年度	宮城県仙台市太白区 旗立 2 丁目 2 番 1 号	
博士課程後期3年課程	3	3	-	9	博士 (食産業学)	0.55	平成25年度		

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(A・C対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部・学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
- ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
- ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
- ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
- ・A・C対象学部等についても必ず記入してください。
- ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
- ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「一」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<事業構想学群 地域創生学類>

(1) 担当教員表

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	風見正三 (57)	平成29年4月	地域創生演習Ⅰ 地域創生演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 宮城大学の知の体系 ※ 地域フィールドワーク コミュニティ・プランナー概論及び演習 コミュニティ・プランナー実践論 コミュニティ・プランナーフィールドワーク演習 地域活性化とビジネス 地域政策概論 社会的共通資本 コミュニティ創造 地域環境政策						
専	教授	糟谷昌志 (49)	平成29年4月	地域創生演習Ⅰ 地域創生演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 応用統計処理 地域福祉政策 社会調査法 多変量解析	専	教授	藤澤由和 (48)	平成29年4月	地域創生演習Ⅰ 地域創生演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専任教員の変更に伴う担当者の変更(29)
					兼任	教授	糟谷昌志 (49)	平成29年4月	応用統計処理 地域福祉政策 社会調査法 多変量解析	専任から兼任へ変更(29)
専	教授	徳永幸之 (57)	平成29年4月	地域創生演習Ⅰ 地域創生演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 社会の中で生きる 事業構想学概論 地域政策概論 数理計画 多変量解析 国土・地域計画 交通計画 地域社会・産業とデザイン	専	准教授	佐々木秀之 (41)	平成29年4月	地域創生演習Ⅰ 地域創生演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専任教員の変更に伴う担当者の変更(29)
					専	教授	藤澤由和 (48)	平成29年4月	社会の中で生きる	全学群で共通科目として授業を実施するための担当者変更(29)
					兼任	教授	徳永幸之 (57)	平成29年4月	事業構想学概論 地域政策概論 数理計画 多変量解析 国土・地域計画 交通計画	専任から兼任へ変更(29)
									地域社会・産業とデザイン	クラス数の減に伴う担当者の減(29)
専	教授	舟引敏明 (59)	平成29年4月	地域創生演習Ⅰ 地域創生演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 行政学 景観工学 都市と文化 都市計画 地区・街区計画 サステナブルデザイン	専	教授	舟引敏明 (59)	平成29年4月	地域フィールドワーク	学外での演習を伴うため担当者追加(29)
専	教授	郷古雅春 (57)	平成29年4月	地域創生演習Ⅰ 地域創生演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 地域産業政策 水資源利用学 災害の科学(水) 水理学	専	教授	郷古雅春 (57)	平成29年4月	地域フィールドワーク	学外での演習を伴うため担当者追加(29)
専	准教授	千葉克己 (46)	平成29年4月	地域創生演習Ⅰ 地域創生演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 災害の科学(土) 地盤工学 測量	専	准教授	千葉克己 (46)	平成29年4月	地域フィールドワーク	学外での演習を伴うため担当者追加(29)
専	講師	板明果 (43)	平成29年4月	地域創生演習Ⅰ 地域創生演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ マクロ経済学 地域分析学 計量経済学	専	講師	板明果 (43)	平成29年4月	スタートアップ・セミナー アカデミック・セミナー	少人数教育実施のため担当者追加(29) 少人数教育実施のため担当者追加(29)
専	助教	物部寛太郎 (38)	平成29年4月	地域創生演習Ⅰ 地域創生演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 地理情報分析	専	准教授	高橋信人 (40)	平成29年4月	地域創生演習Ⅰ 地域創生演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 地理情報分析	平成28年3月物部助教退職。後任は高橋信人准教授が担当する(29)

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授	吉田俊子 (53)	平成29年4月	宮城大学の知の体系 ※						
兼任	教授	西川正純 (57)	平成29年4月	宮城大学の知の体系 ※						
兼任	教授	木村和彦 (55)	平成29年4月	大学での学び入門	兼任	教授	蒔苗耕司 (52)	平成29年4月	大学での学び入門	カリキュラムセンター教員の異動に伴う担当者変更 (29)
				スタートアップ・セミナー アカデミック・セミナー	専	教授	藤澤由和 (48)	平成29年4月	スタートアップ・セミナー アカデミック・セミナー	学群の科目とりまとめの教員へ変更 (29) 学群の科目とりまとめの教員へ変更 (29)
				全学自由ゼミ	兼任	教授	藤原正樹 (64)	平成29年4月	全学自由ゼミ	事業構想学研究科 副研究科長へ担当者変更 (29)
兼任	教授	川村保 (59)	平成29年4月	キャリアデザインⅠ	兼任	講師	宮崎良徳 (49)	平成29年4月	キャリアデザインⅠ	専門科目のキャリア教育科目を担当する担当者へ変更 (29)
兼任	教授	茅原拓朗 (48)	平成29年4月	情報化社会と技術 データサイエンス入門						
兼任	教授	MATTHEW WILSON (44)	平成29年4月	English Reading SkillsⅠ	兼任	准教授	川井一枝 (58)	平成29年4月	English Reading SkillsⅠ	全学群で共通科目として授業を実施するための担当者変更 (29)
				English Self-ExpressionⅠ						
				English Reading SkillsⅡ	兼任	准教授	川井一枝 (58)	平成29年4月	English Reading SkillsⅡ	新規教員採用に伴う担当者変更 (29)
				English Self-ExpressionⅡ English for Academic PurposesⅠ English Self-ExpressionⅢ English for Academic PurposesⅡ Extensive Listening Practical English						
兼任	教授	TIMOTHY PHELAN (59)	平成29年4月		兼任	教授	TIMOTHY PHELAN (59)	平成29年4月	日本事情Ⅰ 日本事情Ⅱ	留学生対象科目のため国際交流・留学生センターを担当する担当者へ変更 (29) 留学生対象科目のため国際交流・留学生センターを担当する担当者へ変更 (29)
				Global StudiesⅠ Global StudiesⅡ Intercultural Communication グローバルインターンシップ 学外研修						
兼任	教授	長澤治夫 (64)	平成29年4月	健康科学 ※						
兼任	講師	長澤治夫 (65)	平成30年4月	健康科学 ※						
兼任	教授	真覚健 (58)	平成29年4月	健康科学 ※	兼任	教授	真覚健 (58)	平成29年4月	心理学	時間割編成に伴う担当者変更 (29)
兼任	教授	山田嘉明 (61)	平成29年4月	心理学	兼任	教授	真覚健 (58)	平成29年4月	心理学	時間割編成に伴う担当者変更 (29)
兼任	教授	原田茂樹 (54)	平成29年4月	環境科学入門						
兼任	教授	弓谷行宏 (61)	平成29年4月	日本語Ⅰ 日本語Ⅱ 日本語Ⅲ 日本語Ⅳ						
				日本事情Ⅰ 日本事情Ⅱ	兼任	教授	TIMOTHY PHELAN (59)	平成29年4月	日本事情Ⅰ 日本事情Ⅱ	留学生対象科目のため国際交流・留学生センターを担当する担当者へ変更 (29) 留学生対象科目のため国際交流・留学生センターを担当する担当者へ変更 (29)
兼任	教授	蒔苗耕司 (52)	平成29年4月		兼任	教授	蒔苗耕司 (52)	平成29年4月	大学での学び入門	カリキュラムセンター教員の異動に伴う担当者変更 (29)
				地域社会・産業とデザイン						
兼任	教授	富樫敦 (60)	平成29年4月		兼任	教授	富樫敦 (60)	平成29年4月	情報化社会と技術 データサイエンス入門	複数クラス開講のため担当者追加 (29) 複数クラス開講のため担当者追加 (29)
				データサイエンス						
兼任	教授	田邊信之 (60)	平成29年4月	金融論 経営財務						
兼任	教授	金子孝一 (63)	平成29年4月	地域活性化とビジネス ビジネスモデル論					地域活性化とビジネス	クラス数の減に伴う担当者の減 (29)
									地域活性化とビジネス	クラス数の減に伴う担当者の減 (29)
兼任	講師	金子孝一 (65)	平成31年4月	消費者心理学 マーケティングリサーチ ビジネスモデル論						
兼任	教授	櫻木晃裕 (55)	平成29年4月	経営組織論 人的資源管理論						
兼任	教授	福永晶彦 (51)	平成29年4月	経営学概論 経営戦略論 現代企業論						
兼任	教授	高力美由紀 (55)	平成29年4月	キャリアデザインⅡ インターンシップⅠ キャリア開発Ⅰ キャリア開発Ⅱ インターンシップⅡ キャリア開発Ⅲ マーケティング 販売促進						

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授	藤澤由和 (48)	平成29年4月		専	教授	藤澤由和 (48)	平成29年4月	社会の中で生きる	全学群で共通科目として授業を実施するための担当者変更(29)
				地域調査法 地域社会学					スタートアップ・セミナー アカデミック・セミナー	学群の科目とりまとめの教員へ変更(29) 学群の科目とりまとめの教員へ変更(29)
兼任	教授	井上誠 (59)	平成29年4月	建築計画 インテリアデザイン ファシリティマネジメント					地域調査法 地域社会学	兼任から専任へ変更(29)
兼任	教授	平岡善浩 (50)	平成29年4月		兼任	教授	平岡善浩 (50)	平成29年4月	地域フィールドワーク	学外での演習を伴うため担当者追加(29)
				建築史					スタートアップ・セミナー アカデミック・セミナー	少人数教育実施のため担当者追加(29) 少人数教育実施のため担当者追加(29)
兼任	教授	北辻政文 (56)	平成29年4月	材料学 測量						
兼任	教授	河西敏幸 (49)	平成29年4月	スポーツ科学 スポーツ実技 体を動かす楽しみ	兼任	教授	河西敏幸 (49)	平成29年4月	アートサイエンス概論 総合芸術	追加開講科目(29) 追加開講科目(29)
兼任	准教授	佐々木秀之 (41)	平成29年4月		専	准教授	佐々木秀之 (41)	平成29年4月	地域フィールドワーク	学外での演習を伴うため担当者追加(29)
				地域資源論 社会起業論					スタートアップ・セミナー アカデミック・セミナー	少人数教育実施のため担当者追加(29) 少人数教育実施のため担当者追加(29)
兼任	准教授	石田祐 (37)	平成29年4月	現代社会の諸相 地方自治 行政評価 防災計画	専	准教授	石田祐 (37)	平成29年4月	スタートアップ・セミナー アカデミック・セミナー	少人数教育実施のため担当者追加(29) 少人数教育実施のため担当者追加(29)
				C S R ・ 経営倫理 法学概論 会計学概論 税務会計					現代社会の諸相 地方自治 行政評価 防災計画	兼任から専任へ変更(29)
兼任	准教授	内田直仁 (46)	平成29年4月	社会と経済 ミクロ経済学 ゲーム理論						
兼任	准教授	金子浩一 (44)	平成29年4月							
兼任	准教授	小島(栗田)さつき (41)	平成29年4月	English Reading Skills I	兼任	講師	莉々紀子 (40)	平成29年4月	English Reading Skills I	産休による担当者変更(29)
				English Self-Expression I	兼任	講師	CRAIG McDONALD (44)	平成29年4月	English Self-Expression I	産休による担当者変更(29)
				English Reading Skills II					English Reading Skills II	クラス数の減に伴う担当者の減(29)
				English Self-Expression II	兼任	講師	CRAIG McDONALD (44)	平成29年4月	English Self-Expression II	産休による担当者変更(29)
				English for Academic Purposes I English Self-Expression III English for Academic Purposes II Extensive Listening Practical English						
					兼任	准教授	曾根洋明 (54)	平成29年4月	スタートアップ・セミナー アカデミック・セミナー	少人数教育実施のため担当者追加(29) 少人数教育実施のため担当者追加(29)
兼任	准教授	曾根洋明 (54)	平成29年4月	English Reading Skills I					English Self-Expression I	クラス数の減に伴う担当者の減(29)
				English Self-Expression I					English Self-Expression II	クラス数の減に伴う担当者の減(29)
				English Reading Skills II						
				English Self-Expression II						
				English for Academic Purposes I English Self-Expression III English for Academic Purposes II Extensive Listening Practical English						
兼任	准教授	山本まゆみ (57)	平成29年4月	世界の歴史と文化						
兼任	准教授	日渡祐二 (45)	平成29年4月	生命科学 生物概論						
兼任	准教授	土岐謙次 (48)	平成29年4月		兼任	准教授	土岐謙次 (48)	平成29年4月	スタートアップ・セミナー アカデミック・セミナー	少人数教育実施のため担当者追加(29) 少人数教育実施のため担当者追加(29)
				美術					アートサイエンス概論 総合芸術	追加開講科目(29) 追加開講科目(29)
兼任	准教授	高橋信人 (40)	平成29年4月		専	准教授	高橋信人 (40)	平成29年4月	情報化社会と技術	複数クラス開講のため担当者追加(29)
				地球と宇宙					基礎統計学	複数クラス開講のため担当者追加(29)
兼任	准教授	原田鉦一郎 (50)	平成29年4月	物理概論	兼任	准教授	原田鉦一郎 (50)	平成29年4月	基礎統計学	兼任から専任へ変更(29)
兼任	准教授	菰田俊一 (47)	平成29年4月	化学概論	兼任	教授	笠原紳 (52)	平成29年4月	化学概論	複数クラス開講のため担当者追加(29) 時間割編成に伴う担当者変更(29)

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	准教授	萩原潤 (45)	平成29年4月	基礎統計学	兼任	准教授	萩原潤 (45)	平成29年4月	情報化社会と技術 データサイエンス入門	複数クラス開講のため担当者追加 (29) 複数クラス開講のため担当者追加 (29)
兼任	准教授	白川愛子 (54)	平成29年4月	健康科学 ※	兼任	教授	石川伸一 (43)	平成29年4月	健康科学	時間割編成に伴う担当者変更 (29)
兼任	講師	佐藤麗 (41)	平成29年4月	English Reading Skills I	兼任	講師	佐藤麗 (41)	平成29年4月	スタートアップ・セミナー アカデミック・セミナー	少人数教育実施のため担当者追加 (29) 少人数教育実施のため担当者追加 (29)
				English Self-Expression I					English Self-Expression I	クラス数の減に伴う担当者の減 (29)
				English Reading Skills II						
				English Self-Expression II					English Self-Expression II	クラス数の減に伴う担当者の減 (29)
				English for Academic Purposes I English Self-Expression III						
兼任	助教	MATTHEW NALL (33)	平成29年4月	English Reading Skills I					English Reading Skills I	クラス数の減に伴う担当者の減 (29)
				English Self-Expression I					English Self-Expression I	クラス数の減に伴う担当者の減 (29)
				English Reading Skills II					English Reading Skills II	クラス数の減に伴う担当者の減 (29)
				English Self-Expression II					English Self-Expression II	クラス数の減に伴う担当者の減 (29)
				English for Academic Purposes I English Self-Expression III						
兼任	講師	藤原正樹 (66)	平成31年4月	経営情報管理 ビジネスプロセスマネジメント eビジネス						
兼任	講師	坂本眞一郎 (66)	平成31年4月	商法・会社法 会計学 企業会計						
兼任	講師	叢莉蔓 (48)	平成29年4月	中国語 I 中国語 II	兼任	講師	西貝定行 (50)	平成29年4月	中国語 I 中国語 II	時間割編成に伴う担当者変更 (29) 時間割編成に伴う担当者変更 (29)
兼任	講師	黄考善 (49)	平成29年4月	韓国語 I 韓国語 II						
兼任	講師	VU THUY MINH CHAU (43)	平成29年4月	ベトナム語 I ベトナム語 II						
兼任	講師	伊藤大介 (43)	平成29年4月	日本の歴史と文化 東北の歴史と文化	兼任	准教授	三好俊文 (41)	平成29年4月	日本の歴史と文化 東北の歴史と文化	新規専任教員採用に伴う担当者変更 (29) 新規専任教員採用に伴う担当者変更 (29)
兼任	講師	佐藤寿一 (56)	平成29年4月	音楽	兼任	講師	渡部勝彦 (71)	平成29年4月	音楽	時間割編成に伴う担当者変更 (29)
兼任	講師	佐藤駿 (33)	平成29年4月	現代社会と哲学	兼任	准教授	菅原謙 (52)	平成29年4月	現代社会と哲学	新規専任教員採用に伴う担当者変更 (29)
兼任	講師	木村敏明 (50)	平成29年4月	人と宗教					人と宗教	新規専任教員採用に伴う担当者変更 (29)
兼任	講師	曾我洋介 (39)	平成29年4月	憲法	兼任	講師	仲宗根卓 (35)	平成29年4月	憲法	新規専任教員採用に伴う担当者変更 (29)
兼任	講師	小野秀壽 (63)	平成29年4月	数理科学 数学概論	兼任	准教授	三浦幸平 (39)	平成29年4月	数理科学 数学概論	新規専任教員採用に伴う担当者変更 (29) 新規専任教員採用に伴う担当者変更 (29)
兼任	教授	岩堀恵祐 (65)	平成31年4月	環境衛生工学						
兼任	講師	庄子真岐 (40)	平成31年4月	地域交流論						
兼任	講師	巖爽 (47)	平成31年4月	環境心理・行動学						
兼任	講師	吉瀬博仁 (67)	平成31年4月	ロジスティクス リスクマネジメント						
兼任	講師	酒井茂孝 (66)	平成32年4月	ブランディング						
兼任	講師	篠塚功照 (44)	平成31年4月	民法						
兼任	講師	稲村健太郎 (40)	平成31年4月	公法						
兼任	講師	佐藤和裕 (49)	平成31年4月	建築法規・環境法規						
兼任	講師	鈴木康夫 (68)	平成32年4月	知的財産管理						
兼任	講師	渋谷純一 (73)	平成31年4月	構造力学 I						
兼任	講師	権代由範 (36)	平成31年4月	構造力学 II						
兼任	講師	菅原正則 (45)	平成31年4月	生活環境工学						
兼任	講師	松本年史 (67)	平成31年4月	構造力学演習 建築一般構造						
兼任	講師	福地一彦 (66)	平成31年4月	施工技術						
兼任	講師	齊藤智之 (66)	平成31年4月	建築設備						
兼任	講師	橋本陽介 (33)	平成31年4月	ユニバーサルデザイン						
兼任	講師	増田豊文 (59)	平成32年4月	建築コスト						
兼任	講師	井川望 (61)	平成32年4月	耐震設計法						
					専	准教授	石田祐 (37)	平成29年4月	地域創生演習 I 地域創生演習 II 卒業研究 I 卒業研究 II	専任教員の変更に伴う担当者の変更 (29)

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
					兼任	准教授	三浦幸平 (39)	平成29年4月	基礎統計学 地域フィールドワーク	複数クラス開講のため担当者追加(29) 学外での演習を伴うため担当者追加(29)
					兼任	准教授	菅原謙 (52)	平成29年4月	地域フィールドワーク	学外での演習を伴うため担当者追加(29)
					兼任	准教授	三好俊文 (41)	平成29年4月	地域フィールドワーク	学外での演習を伴うため担当者追加(29)
					兼任	講師	仲宗根卓 (35)	平成29年4月	地域フィールドワーク	学外での演習を伴うため担当者追加(29)
					兼任	教授	須栗裕樹 (53)	平成29年4月	情報化社会と技術 データサイエンス入門	複数クラス開講のため担当者追加(29) 複数クラス開講のため担当者追加(29)
					兼任	教授	秋月治 (62)	平成29年4月	情報化社会と技術 データサイエンス入門	複数クラス開講のため担当者追加(29) 複数クラス開講のため担当者追加(29)
					兼任	教授	中田千彦 (48)	平成29年4月	アートサイエンス概論 総合芸術	追加開講科目(29) 追加開講科目(29)
					兼任	教授	鹿野護 (44)	平成29年4月	アートサイエンス概論	追加開講科目(29)
					兼任	教授	笠原神 (52)	平成29年4月	環境科学入門	オムニバス科目への変更に伴う担当者追加(29)
					兼任	教授	神宮宇寛 (48)	平成29年4月	物理概論	複数クラス開講のため担当者追加(29)
					兼任	講師	渡部勝彦 (71)	平成29年4月	アートサイエンス概論 総合芸術	追加開講科目(29) 追加開講科目(29)
					兼任	講師	相澤富美江 (52)	平成29年4月	アートサイエンス概論 総合芸術	追加開講科目(29) 追加開講科目(29)
					兼任	講師	高山登 (72)	平成29年4月	アートサイエンス概論 美術 総合芸術	追加開講科目(29) オムニバス科目への変更に伴う担当者追加(29) 追加開講科目(29)
					兼任	講師	青野文昭 (49)	平成29年4月	アートサイエンス概論 美術 総合芸術	追加開講科目(29) オムニバス科目への変更に伴う担当者追加(29) 追加開講科目(29)
					兼任	講師	渡辺誠一郎 (66)	平成29年4月	アートサイエンス概論 総合芸術	追加開講科目(29) 追加開講科目(29)
					兼任	講師	上野晴夫 (62)	平成29年4月	数学概論	複数クラス開講のため担当者追加(29)
					兼任	講師	里見宗久 (66)	平成29年4月	数学概論	複数クラス開講のため担当者追加(29)

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 後任が決まっていなない場合には、「後任未定」と記入してください。
- ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
- ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には**当該学部等の就任時における満年齢**を、「**変更状況**」には**平成29年5月1日現在の満年齢**を記入してください。
- ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていなない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
- ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
8 名	4 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教 授	准教授	講 師	助 教	計	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)
5	1	1	1	8	4	4	1	0	9	4	4	1	0	9
(5)	(1)	(1)	(1)	(8)						[△1]	[3]	[0]	[△1]	[1]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入する[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（A））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

＜事業構想学群 地域創生学類＞

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由							
1	助教	物部 寛太郎	必修	地域創生演習Ⅰ	①	一身上の都合による退職のため就任辞退（29）							
			必修	地域創生演習Ⅱ	①								
			必修	卒業研究Ⅰ	①								
			必修	卒業研究Ⅱ	①								
			選択	地理情報分析	①								
合計（A）					後任補充状況の集計（B）								
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）				
1	人	必修	4	科目	必修	4	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	1	科目	選択	1	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	5	科目	計	5	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由		
該当なし								
合 計（A）					後任補充状況の集計（B）			
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）		③の合計数（c）
該当なし								

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（A）＋（C）				後任補充状況の集計（B）＋（D）							
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
1	人	必修	4 科目	必修	4 科目	必修	0 科目	必修	0 科目		
		選択	1 科目	選択	1 科目	選択	0 科目	選択	0 科目		
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目		
		計	5 科目	計	5 科目	計	0 科目	計	0 科目		

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

就任辞退の番号1については、退職は一身上の都合（家庭の事情）によるものであり、真にやむを得ない事情によるものであると判断して退職を認めた。学生に対しては、平成27年4月5日に実施したオリエンテーションで専任教員を発表しており、今年度については当該教員の開講科目が存在しないため教育上の支障は発生しない。(29)

- (注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (H28年4月)	該当なし			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

＜事業構想学群 地域創生学類＞

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

平成28年4月より、教育推進機構を設置し、全学的な教学マネジメントを実施している。特に機構下部組織のカリキュラムセンターが教員の資質の維持向上の方策について所掌しており、授業評価アンケート、シラバスの改善、FD・SDの企画・運営を行っている。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

＜カリキュラムセンター運営会議＞

平成28年度は13回開催

- 第1回 平成28年4月27日
- 第2回 平成28年5月11日
- 第3回 平成28年5月25日
- 第4回 平成28年6月22日
- 第5回 平成28年7月27日
- 第6回 平成28年8月24日
- 第7回 平成28年9月28日
- 第8回 平成28年10月26日
- 第9回 平成28年11月30日
- 第10回 平成28年12月21日
- 第11回 平成29年1月25日
- 第12回 平成29年2月21日
- 第13回 平成29年3月22日

c 委員会の審議事項等

＜カリキュラムセンター運営会議＞

平成28年度

- 第1回 平成28年4月27日
 - 1 役割分担と今後のスケジュール等について
 - 2 ディプロマ・カリキュラム・アドミッションポリシーの策定について
 - 3 平成28年度前期授業評価等について
 - 4 フレッシュマンコア等の教材開発の進捗について
 - 5 文部科学省への届出等の提出について
 - 6 文部科学省補助事業「AP事業」の申請について
- 第2回 平成28年5月11日
 - 1 科目分野別課題共有
 - 2 平成28年度前期授業評価等について

- 第3回 平成28年5月25日
- 1 カリキュラムセンターの主項目及び科目分野別業務工程表について
 - 2 ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー策定について
 - 3 科目分野別の課題について
 - 4 基盤教育科目の教材開発について
 - 5 平成28年度 F D・S Dの実施計画について
 - 6 学類選択スキームと成績評価等（G P A）について
- 第4回 平成28年6月22日
- 1 ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー（案）について
 - 2 各学群での取得可能資格の申請手続き等について
 - 3 学類選択フローの考え方について
 - 4 新カリキュラム（フレッシュマンコア）科目担当教員の配置と教材開発等について
 - 5 平成28年度補正予算・平成29年度当初予算策定に向けて
 - 6 平成29年度非常勤教員任用方針及び予算編成について
 - 7 平成28年度 F D・S Dの実施計画について
 - 8 平成28年度前期 授業評価アンケート実施について
 - 9 3大学連携について
- 第5回 平成28年7月27日
- 1 シラバス記載要領について
 - 2 キャリア教育、インターシップ分野について
 - 3 ナチュラルサイエンス分野について
 - 4 グローバルコミュニケーション（英語）について
 - 5 教材開発について
 - 6 大学における教材開発に関するコンテンツの課題等について
- 第6回 平成28年8月24日
- 1 シラバス記載要領について
 - 2 地域フィールドワーク分野について
 - 3 情報科学分野について
 - 4 カリキュラムセンター工程表及び分野別工程表と予算について
 - 5 学類選択他、規程、制度、仕組みの検討について
- 第7回 平成28年9月28日
- 1 部門別の進捗状況について（教育の具現化に向けて）
 - 2 教材開発の進捗状況について
 - 3 新シラバス作成の具体化と学修指導体制の確立にむけて
 - 4 新履修規程策定、成績評価方法の具体的検討について
 - 5 H28年度前期 授業評価結果（速報版）と授業改善、フィードバック等について
 - 6 H28年度前期 成績評価（分野、科目、専門）を踏まえての課題、改善について
 - 7 全学SDの結果報告、その活用及び今後のSD計画について
- 第8回 平成28年10月26日
- 1 基盤教育科目シラバス（案）のフィードバックと修正ポイント、スケジュールについて
 - 2 平成29年度カリキュラム及び時間割編成の考え方について
 - 3 平成29年度入学生のパソコン必携の対応について
 - 4 新カリキュラム履修規程（案）策定のポイントと今後のスケジュールについて
 - 5 現カリキュラム科目の新カリキュラム読替検討について
 - 6 地域フィールドワークについて
- 第9回 平成28年11月30日
- 1 平成29年度からのカリキュラム編成方針及び時間割編成方針（案）について
 - 2 新カリキュラム履修規程（案）について
 - 3 現カリキュラム科目の新カリキュラム読替について
 - 4 基盤教育科目シラバス（第二次案）及び専門科目シラバス（案）のフィードバックと今後のスケジュールについて
 - 5 平成29年度年度計画策定・予算作成及び平成28年度年度計画暫定実績について
 - 6 3公立大学連携事業及び12月17日（土）開催シンポジウムについて
 - 7 平成28年度前期授業評価後の改善計画等について
 - 8 地域フィールドワークの進捗について
- 第10回 平成28年12月21日
- 1 新カリキュラム履修規程（案）について
 - 2 平成29年度カリキュラム編成方針及び基盤教育時間割編成方針（案）について
 - 3 基盤教育科目シラバス（第三次案）及び専門科目シラバス（第二次案）のフィードバックと今後のスケジュールについて
 - 4 現カリキュラム科目の新カリキュラム読替について（食産業学部の確認）
 - 5 平成29年度年度計画策定（案）・予算（案）及び平成28年度年度計画暫定実績（案）について
 - 6 平成28年度前期授業評価後の改善計画等について（基盤教育関係）
 - 7 地域フィールドワークの進捗について

第11回 平成29年1月25日

- 1 <新カリキュラム>宮城大学履修規程（案）について
- 2 シラバスについて
- 3 各科目の学修指導及び成績評価について
- 4 授業評価及び授業改善計画について
- 5 新カリキュラム科目における資格申請等について
- 6 平成29年度年度計画策定（案）・予算（案）及び
平成28年度年度計画暫定実績（案）について
- 7 地域フィールドワークの進捗について

第12回 平成29年2月21日

- 1 宮城大学履修規程及び宮城大学学則の改正について
- 2 現カリキュラム科目の新カリキュラム読替について
- 3 各学部の授業改善計画について
- 4 新カリキュラム科目のシラバスについて
- 5 学位規則の改正について
- 6 他学群・他学類等授業科目の履修実施要綱について
- 7 その他
- 8 今後の授業評価等の方途について
- 9 各週の時間割について
- 10 地域フィールドワークの進捗について
- 11 教材（スタートアップセミナー／アカデミックセミナー）、MAPについて

第13回 平成29年3月22日

- 1 宮城大学学則、宮城大学履修規程、他要綱の制定、改正確定版について
- 2 1の制定・改正による下位要綱等の検討
- 3 各学部のH28年度前期授業改善計画の学生への公表及び
H28年度後期授業改善、H29年度の授業評価について
- 4 H29年度高大接続連携事業年度計画及び連絡協議会設置について
- 5 H29年度3公立大学連携事業・奈良県立大学とのパイロットプログラムについて
- 6 各学群の資格申請結果等について
- 7 地域フィールドワークの進捗について
- 8 宮城大学アカデミックポートフォリオ（MAP）の
学生への利用方法の周知及び専用バインダーの配布について
- 9 H29年度カリキュラムセンターの事業等の計画策定について

② 実施状況

a 実施内容

b 実施方法

c 開催状況（教員の参加状況含む）

○全学SD「教職協働で取り組む学生一人ひとりの学修支援に向けて」

- ・平成28年8月22日（月）開催
- ・役員8/8，教員92/131，事務職員43/52，合計143/191名参加
- ・講演及びワークショップを実施。後日グループレポート，個人レポートを提出（提出率82%）

○スタートアップ・セミナー実施に向けたワークショップ

- ・平成28年12月7日（水），平成29年2月23日（木）開催
- ・教員34名（延べ）参加
- ・ワークショップ形式による，指導方法に関する相互学習及び開発，ルーブリックの開発等

○全学FD「新教育課程でのインターンシップ」

- ・平成28年11月16日（水）開催
- ・役員8/8，教員62/131，事務職員45/55，合計115/194名参加
- ・学外講師による講演，学内講師による新課程での運営方法説明

○看護学部FD「卒後も学び続ける人材育成につなげる看護学群」

- ・平成28年8月10日（水）開催
- ・看護学部教員46/50名出席
- ・グループワーク形式

○事業構想学部FD「フレッシュマンコア科目の概要と検討状況について」

- ・平成29年2月8日（水）開催
- ・事業構想学部教員28/34名出席
- ・新課程に向けた情報共有と意見交換

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

平成29年度からの新課程に向けた授業の改善と学生に対する指導体制の在り方を中心に平成28年度は取り組んだ。8月に開催した全学SDでは、平成29年4月1日SD義務化の大学設置基準の改正に先立ち、全ての理事、教員及び事務職員を対象として、あるべき大学の姿や求められる学生サービスについて活発な議論を実施した。このSDでは、個人レポートに加えグループレポートも全員に課すことにより、各部門で発案されたテーマに基づきながら教育改善、授業改善に結びついたFD活動が発展的に実施された。

平成29年度からは、FD・SD活動をカリキュラムセンターがより主体的に企画運営し、3学群とも連携を強めながら、さらに体系的な教育改善・組織改善の体制を整備することとしている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

平成28年度前期末（7月～8月）および後期末（2月～3月）にウェブ上でアンケートを実施した。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・授業評価結果に基づき、各担当教員が授業改善計画を作成し、授業評価結果と併せて学内で公開。
- ・各教育課程（学部）全体での授業改善に向けた取組の実施計画を学部長が作成。
- ・上記の計画に基づき、平成29年度の授業が実施されているかカリキュラムセンターおよび第三者による確認を実施予定。
- ・学生の学修到達度を把握し、授業科目や教育課程それぞれの教育効果を測定できるよう、新しい授業評価アンケートシステムの導入に向けて準備を進めている。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

地域創生学類では、人間の行動原理、社会システムの挙動等に関する基本的理論を踏まえ、少子高齢化、人口減少、震災復興など地域社会で顕在化している諸問題を分析し、地域資源も活用することで地域課題の解決に取り組める人材を育成することを目的としている。

設置初年度の現段階では、新たに導入したフレッシュマンコアを中心とした基盤教育科目を開講しているが、1年後期からは、学類共通の専門基礎科目として「事業構想学総論」「地域活性化とビジネス」「地域社会・産業とデザイン」の3科目を開講する。こうした学群共通科目の展開により、2年次進級時の「学類選択・決定」の指針となり、かつ、学生自身が進む学類での体系化されたカリキュラムにつながる学修を初年次から深めていく。

また、カリキュラム運営にあたっては、基盤教育科目の運用準備の段階から、フレッシュマンコア科目の質の保証に資するため、共通教材の開発や、評価にあたってのルーブリックの整備など、教育推進機構の下に組織されたカリキュラムセンターが教学マネジメントの一翼を担ってきた。

しかし、今年度より導入された「学群・学類・学系制」のメリットを最大限に生かし、学群・学類の垣根を超えて、基盤教育カリキュラムの企画・開発・運用に責任を持つ組織として「基盤教育群」を新設し、群長のもと教授会を立ち上げた。まさに、設置の趣旨で掲げた基盤教育の骨太化を具現化するための組織体制強化である。

以上のように、設置計画に基づき、設置の趣旨・目的が実現できるよう、全学を挙げて、着実に取り組みを進めているところである。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・本学では、中期目標期間の第5年度に合わせて6年周期として認証評価を受けることとしており、その前年度に、それまでの自己点検・評価をまとめ報告書として作成している。
- ・独立行政法人化の最初の認証評価は平成25年度であったため、上記のタームに基づき平成24年度末（25年3月）に自己点検・評価報告書を作成し、ホームページにおいて公表している。
- ・次回は平成31年度に認証評価を受審予定であり、その前年度である平成30年度末までに、それまでの自己点検・評価をまとめて評価報告書を作成することとしている。

b 公表方法

- ・本学ウェブサイトにて公表している。 <http://www.myu.ac.jp/site/co/25ninshou.html>

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成25年度に、公益財団法人大学基準協会による大学評価を受け、その結果、本学は大学基準に適合していることが認定された。
- ・次回は平成31年度に認証評価を受審予定である。

- (注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (2017年5月31日)

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

公立大学法人宮城大学

(2) 大 学 名 宮城大学

(3) 大学の位置

〒981-3298
宮城県黒川郡大和町学苑1番地1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(ニシガキ マサル) 西垣 克 (平成23年4月)	(カワカミ ノブアキ) 川上 伸昭 (平成29年4月)	任期満了によりH28.11.1 学長選考会議にて選出 (29)
学 長	(ニシガキ マサル) 西垣 克 (平成23年4月)	(カワカミ ノブアキ) 川上 伸昭 (平成29年4月)	任期満了によりH28.11.1 学長選考会議にて選出 (29)
学 部 長		(カザミ ショウゾウ) 風見 正三 (平成29年4月)	届出時には学群長が未定 であったが、学内規程に よりH29.3.22定例理事会 にて決定(29)
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は、平成26年度開設の4年制の学科の場合(平成29年度までの4年間)ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
事業構想学群 価値創造デザイン学類 学士(価値創造デザイン学)	工学関係	4年	80人	-	320人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区 分	対象年度	平成 2 9 年度		平成 3 0 年度		平成 3 1 年度		平成 3 2 年度		平均入学定員 超 過 率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人	80 (-) [6]	人	- (-) [-]	人	- (-) [-]	人	- (-) [-]	人	1.05倍	入学時は、一部の選抜区分を除き、事業構想学群としての学群一括入試のため、学群全体を各学類で按分して記載しており、2年次進級時に学類を決定して収容する。なお、入学時に学類が決定している学生は、A0入試区分入学者8名、外国人留学生入試区分2名の計10名である。 (29)
志願者数	286 (-) [6]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]			
受験者数	196 (-) [4]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]			
合格者数	86 (-) [2]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]			
B 入学者数	84 (-) [2]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]			
入学定員超過率 B / A	1.05		-		-		-				

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には、編入学の状況について**外数**で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ [] 内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	対象年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	84 [2] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	1年次の在学者については、一部の選抜区分を除き、事業構想学群としての学群一括入試のため、学群全体を各学類で按分して記載しており、2年次進級時に学類を決定して収容する。 なお、入学時に学類が決定している学生は、A0入試区分入学者8名、外国人留学生入試区分2名の計10名である。(29)
2年次			- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
3年次					- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
4年次							- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
計							- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成29年度 入学者	210 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
			平成32年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	0 人	平成30年度	人	人		#DIV/0! %
			平成31年度	人	人		
			平成32年度	人	人		
平成31年度 入学者	人	0 人	平成31年度	人	人		#DIV/0! %
			平成32年度	人	人		
平成32年度 入学者	人	人	平成32年度	人	人		#DIV/0! %
合 計	210 人	0 人					0.00 %

(注)・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<事業構想学群 価値創造デザイン学類>

(1) 授業科目表

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置						備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手			
基 盤 教 育 科 目	宮城大学の知の体系	1前	2									兼3	
	大学での学び入門	1前	1			1						兼4	カリキュラムセンター教員の異動に伴う担当者変更 (29)
	社会の中で生きる	1前	1									兼1	全学群で共通科目として授業を実施するための担当者変更 (29)
	キャリアデザインⅠ	1後	1									兼1	専門科目のキャリア教育科目を担当する担当者へ変更 (29)
	スタートアップ・セミナー	1前	2			1	1					兼4 兼6	少人数教育実施のため担当者追加 (29)
	アカデミック・セミナー	1後	2			1	1					兼4 兼6	少人数教育実施のため担当者追加 (29)
	地域フィールドワーク	1前	2			1						兼4 兼9	学外での演習を伴うため担当者追加 (29)
	情報化社会と技術	1後	2			1						兼4	複数クラス開講のため担当者追加 (29)
	データサイエンス入門	1前	2			4						兼5	全学群で共通科目として授業を実施するための担当者変更、複数クラス開講のため担当者追加 (29)
	English Reading SkillsⅠ	1前	1									兼5 兼4	新規教員採用に伴う担当者変更、産休による担当者変更、クラス数の減に伴う担当者の減 (29)
	English Self-ExpressionⅠ	1前	1									兼5 兼2	産休による担当者変更、クラス数の減に伴う担当者の減 (29)
	English Reading SkillsⅡ	1後	1									兼5 兼3	新規教員採用に伴う担当者変更、クラス数の減に伴う担当者の減 (29)
	English Self-ExpressionⅡ	1後	1									兼5 兼2	産休による担当者変更、クラス数の減に伴う担当者の減 (29)
	English for Academic PurposesⅠ	2前	1									兼5	
	English Self-ExpressionⅢ	2前	1									兼5	
	English for Academic PurposesⅡ	2後		1								兼3	
	Extensive Listening	2後		1								兼3	
	Practical English	2前		1								兼3	
	中国語Ⅰ	1・2前		1								兼1	時間割編成に伴う担当者変更 (29)
	中国語Ⅱ	1→2前 1・2後		1								兼1	履修の順序性を考慮した配当学期の変更、時間割編成に伴う担当者変更 (29)
	韓国語Ⅰ	1→2後 1・2前		1								兼1	履修の順序性を考慮した配当学期の変更 (29)
	韓国語Ⅱ	1・2後		1								兼1	
	ベトナム語Ⅰ	1・2休		1								兼1	
	ベトナム語Ⅱ	1・2休		1								兼1	
	Global StudiesⅠ	1・2前		2								兼1	
	Global StudiesⅡ	1・2後		2								兼1	
	Intercultural Communication	1・2前		2								兼1	
	全学自由ゼミ	1・2休		1								兼1	事業構想学研究科 副研究科長へ担当者変更 (29)
	日本の歴史と文化	1・2前		2								兼1	新規専任教員採用に伴う担当者変更 (29)
	世界の歴史と文化	1・2後		2								兼1	
	東北の歴史と文化	1・2後		2								兼1	新規専任教員採用に伴う担当者変更 (29)
	音楽	1・2前		2								兼1	時間割編成に伴う担当者変更 (29)

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
基 盤 教 育 科 目	美術	1・2後		2			1				兼2 オムニバス科目への変更に伴う担当者追加 (29)
	アートサイエンス概論	1前		1		2	1				兼6 複数領域にまたがる芸術等講義科目を追加開講 (29)
	総合芸術	1集中		1		1	1				兼6 芸術等科目の実習科目を追加開講 (29)
	健康科学	1・2前		2							兼3 時間割編成に伴う担当者変更 (29)
	スポーツ科学	1・2前		1							兼1
	スポーツ実技	1・2前		1							兼1
	体を動かす楽しみ	1・2後		1							兼1
	現代社会と哲学	1・2前		2							兼1 新規専任教員採用に伴う担当者変更 (29)
	人と宗教	1・2前		2							兼1 新規専任教員採用に伴う担当者変更 (29)
	心理学	1・2前		2							兼1 時間割編成に伴う担当者変更 (29)
	現代社会の諸相	1・2後		2							兼1
	憲法	1・2後		2							兼1 新規専任教員採用に伴う担当者変更 (29)
	社会と経済	1・2後		2							兼1
	数理科学	1・2前		2							兼1 新規専任教員採用に伴う担当者変更 (29)
	生命科学	1・2前		2							兼1
	環境科学入門	1・2後		2							兼1 兼2 オムニバス科目への変更に伴う担当者追加 (29)
	地球と宇宙	1・2後		2							兼1
	数学概論	1・2前		2							兼1 兼3 新規専任教員採用に伴う担当者変更、複数クラス開講のため担当者追加 (29)
	物理概論	1・2前		2							兼1 兼2 複数クラス開講のため担当者追加 (29)
	化学概論	1・2後 1・2前		2							兼1 履修の順序性を考慮した配当学期の変更、時間割編成に伴う担当者変更 (29)
	生物概論	1・2後 1・2前		2							兼1 履修の順序性を考慮した配当学期の変更 (29)
	基礎統計学	1後	2								兼1 兼4 複数クラス開講のため担当者追加 (29)
	日本語Ⅰ	1前		1							兼1
	日本語Ⅱ	1後		1							兼1
	日本語Ⅲ	2前		1							兼1
	日本語Ⅳ	2後		1							兼1
	日本事情Ⅰ	1前		2							兼1 留学生対象科目のため国際交流・留学生センターを担当する担当者へ変更 (29)
	日本事情Ⅱ	1後		2							兼1 留学生対象科目のため国際交流・留学生センターを担当する担当者へ変更 (29)
全 学 目 共 通 科	コミュニティ・プランナー概論及び演習	2前		2							兼1
	コミュニティ・プランナー実践論	2後			2						兼1
	コミュニティ・プランナーフィールドワーク演習	3前			2						兼1
	グローバルインターンシップ 学外研修	1・2休 1・2休		2 2							兼1 兼1
専 門 基 礎 科 目	事業構想学概論	1後	2								兼1
	地域活性化とビジネス	1後	1								兼2 兼1 クラス数の減に伴う担当者の減 (29)
	地域社会・産業とデザイン	1後	1			1					兼4 クラス数の減に伴う担当者の減 (29)
	価値創造デザイン学基礎	2前	2			3					
	情報と環境	2前	2			1					
	色彩と形態	2前	2				1				
	価値創造デザイン演習Ⅰ	2前	2			0	1	1			新規専任教員の追加 (29)
	応用情報処理	2前	2								兼1
	応用統計処理	2前	2								兼1
	キャリアデザインⅡ	2前	1								兼1
	インターンシップⅠ	2前	2								
	身体と認識	2後	2			2	1				小嶋教授退職、現在後任未定 (29)

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考		
				必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手			
専 門 基 礎 科 目	伝統と文化		2後	2			1	1				兼1 兼1 兼1 兼1 兼1	新規専任教員の追加 (29)	
	素材と加工		2後	2			1							
	価値創造デザイン演習Ⅱ		2後	2		1	2		1					
	数理計画		2後	2										
	キャリア開発Ⅰ		2後	1										
	構造と機能		2後	2		1	1							
	キャリア開発Ⅱ		3前	2										
	インターンシップⅡ		3前	1										
	キャリア開発Ⅲ		3前	1	2									
専 門 科 目	感 性 情 報 デ ザ イ ン 科 目	基 幹 科 目	メディアプログラミング	2後		2		1	0		1		兼1	小嶋教授退職，現在後任未定 (29)
			ウェブプログラミング	2後		2					1			
			情報構造と可視化	2後		2								
			感性情報デザイン演習Ⅰ	2後		2		2	1		1			
			ユニバーサルデザイン	3前		2								
			インタフェースデザイン	3前		2		2	1		1			
			コンピュータグラフィクス	3前		2		1						
			ウェブデザイン	3前		2		1			1			
		関 連 科 目	感性情報デザイン演習Ⅱ	3前		3		2	1		1			
			エクスペリエンスデザイン	3後		2		2	1					
			感性情報デザイン演習Ⅲ	3後		3		3	2		1			
			情報サービスデザインⅠ	3前		2								
	造 形 ・ プ ロ ダ ク ト 科 目	デ ザ イ ン 科 目	フィジカルコンピューティング	3前		2		1	0				兼2 兼2 兼1	小嶋教授退職，現在後任未定 (29)
			音響・映像デザイン	3前		2		1						
			情報サービスデザインⅡ	3後		2								
			空間情報コンピューティング	3後		2		1						
			エンタテインメントデザイン	4前		2								
			風土・伝統デザイン	3前		2		1		1				
			グラフィックデザイン	3前		2								
			造形・プロダクトデザイン演習Ⅰ	3前		3		1		1				
			インテリアデザイン	3前		2		1						
			造形・プロダクトデザイン	3後		2				1				
			感性デザイン評価法	3後		2		1						
			編集・広告デザイン	3後		2		1						
	生 活 環 境 デ ザ イ ン 科 目	基 幹 科 目	造形・プロダクトデザイン演習Ⅱ	3後		3		1		1		兼1 兼1 兼1		
			デザインマネジメント	4前		2								
			プロジェクトマネジメント	4前		2								
			知的財産管理	4前		2								
			生活環境デザイン概論	2後		2		2						
			建築史	2後		2		1						
			生活環境デザイン演習Ⅰ	2後		2		3						
			生活環境工学	3前		2								
			都市と文化	3前		2								
			生活環境デザイン演習Ⅱ	3前		3		3						
			環境心理・行動学	3後		2								
			景観工学	3後		2								
関 連 科 目	生活環境デザイン演習Ⅲ	3後		3		3								
	構造力学Ⅰ	3前		2										
	材料学	3前		2										
	建築計画	3前		2		1								
	国土・地域計画	3前		2										
	災害の科学（土）	3前		2										
	構造力学Ⅱ	3後		2										
	構造力学演習	3後		1										
	建築一般構造	3後		2										
	建築法規・環境法規	3後		2										
	施工技術	3後		2										
	建築設備	3後		2										
	都市計画	3後		2										
	災害の科学（水）	3後		2										
	地盤工学	3後		2										
	耐震設計法	4前		2										
	建築コスト	4前		2										
	地区・街区計画	4前		2										
	ファシリティマネジメント	4前		2		1								
	サスティナブルデザイン	4前		2										
測量	4前		2											

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	
卒業研究	卒業研究サーベイ	3後	2			6 5	1		1		研究室（ゼミ）で研究を行う学生数 上限の見直しに伴う担当者の減(29)
	卒業研究Ⅰ	4前	2			6 5	1		1		
	卒業研究Ⅱ	4後	4			6 5	1		1		

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時（平成28年度に認可（届出）された大学等は設置認可（届出）時より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。）
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成19年度認可以前）についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設 置 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
必 修	選 択	自 由	計	必 修	選 択	自 由	計	
科目 39	科目 103	科目 2	科目 144	科目 39	科目 105	科目 2	科目 146	
				[]	[2]	[]	[2]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

<事業構想学群 価値創造デザイン学類>

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					

- (注) ・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{144} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点以下第2位までを記入してください。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が，「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校 舎 敷 地	66,769 m ²	-	-	66,769 m ²				
	運動場用地	26,661 m ²	-	-	26,661 m ²				
	小 計	93,430 m ²	-	-	93,430 m ²				
	そ の 他	598,964 m ²	-	-	598,964 m ²				
	合 計	692,394 m ²	-	-	692,394 m ²				
(2) 校 舎	専 用	60,137 m ²	-	-	60,137 m ²				
	(60,137m ²)	(-)	(-)	(60,137m ²)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	施設改修のため(29)			
	28 27 室	36 室	33 32 室	6 室 (補助職員 人)	2 室 (補助職員 人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		施設利用方法の見直しのため (29)			
	事業構想学群 事業プランニング学類			14 16 室					
	事業構想学群 地域創生学類			14 16 室					
	事業構想学群 価値創造デザイン学類			14 15 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	蔵書見直しのため(29)	
	事業構想学群	131,373 [16,939] (123,805 [16,538]) (101,654 [15,919])	3,268 [630] 6,031 [996] (3,250 [615]) (4,111 [756])	16,172 [13,595] 18,000 [15,700] (16,172 [13,595]) (18,000 [15,700])	5,130 5,084 (4,905) (4,722)	()	()		
	計	131,373 [16,939] (123,805 [16,538]) (101,654 [15,919])	3,268 [630] 6,031 [996] (3,250 [615]) (4,111 [756])	16,172 [13,595] 18,000 [15,700] (16,172 [13,595]) (18,000 [15,700])	5,130 5,084 (4,905) (4,722)	()	()		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体 レイアウト見直しのため(29)		
	3,136m ²		304 300		274,889				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体		
	4,897m ²		テニスコート		メモリアルホール				
			トレーニング室						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	教員1人当たり研究費は教員数増加に伴う研究費配分の見直しのため(29) 図書購入費は一部電子ジャーナル契約終了のため(29) 設備購入費は平成29年度予算編成に伴うもの(29)
		教員 1 人 当 り 研 究 費 等	231 247千円	247千円	図書購入費	66,728千円	64,426 66,728千円	66,728千円	
		共 同 研 究 費 等	51,000千円	51,000千円	設備購入費	51,776千円	41,639 51,776千円	51,776千円	
	学生1人当り 納付金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次		
		県内 818千円 県外 1,100千円	535千円	535千円	535千円	-	-		
	学生納付金以外の維持方法の概要			大学の維持運営に当たって、学生納付金で不足する経費については、宮城県の運営費交付金等を充当する。					

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	宮城大学							備 考	
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又は 称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
事業構想学部							平成9年度	宮城県黒川郡大和町 学苑 1 番地 1	平成29年度より 学生募集停止
事業計画学科	4	100	－	400	学士 (事業計画学)	－	平成9年度		平成29年度より 学生募集停止
デザイン情報学科	4	100	－	400	学士 (デザイン 情報学)	－	平成9年度		平成29年度より 学生募集停止
食産業学部							平成17年度	宮城県仙台市太白区 旗立 2 丁目 2 番 1 号	平成29年度より 学生募集停止
ファームビジネス学科	4	42	－	168	学士 (食産業学)	－	平成17年度		平成29年度より 学生募集停止
フードビジネス学科	4	52	－	208	学士 (食産業学)	－	平成17年度		平成29年度より 学生募集停止
環境システム学科	4	31	－	124	学士 (食産業学)	－	平成17年度		平成29年度より 学生募集停止
看護学群							平成9年度	宮城県黒川郡大和町 学苑 1 番地 1	平成29年度より 看護学部から名称変更 ※編入はH29、H30募集のみ
看護学類	4	95	5	380	学士 (看護学)	1.04	平成9年度		平成29年度より 看護学科から名称変更 ※編入はH29、H30募集のみ
事業構想学群							平成29年度	宮城県黒川郡大和町 学苑 1 番地 1	
事業プランニング学類	4	60	－	240	学士 (事業プラン ニング学)	1.05	平成29年度		入学時は、一部の選抜区分 を除き、事業構想学群とし ての学群一括入試のため、学 群全体を各学類で按分して 記載しており、2年次進級 時に学類を決定して収容す る。
地域創生学類	4	60	－	240	学士 (地域創生学)	1.05	平成29年度		
価値創造デザイン学類	4	80	－	320	学士 (価値創造 デザイン学)	1.05	平成29年度		
食産業学群							平成29年度	宮城県仙台市太白区 旗立 2 丁目 2 番 1 号	
食資源開発学類	4	62	－	248	学士 (食産業学)	1.03	平成29年度		入学時は、一部の選抜区分 を除き、食産業学群として の学群一括入試のため、学 群全体を各学類で按分して 記載しており、2年次進級 時に学類を決定して収容す る。
フードマネジメント学類	4	63	－	252	学士 (食産業学)	1.05	平成29年度		
看護学研究科 看護学専攻								宮城県黒川郡大和町 学苑 1 番地 1	
博士課程前期2年課程	2	10	－	20	修士 (看護学)	0.95	平成13年度		
博士課程後期3年課程	3	3	－	9	博士 (看護学)	0.99	平成22年度		
事業構想学研究科 事業構想学専攻								宮城県黒川郡大和町 学苑 1 番地 1	
博士課程前期2年課程	2	20	－	40	修士 (事業構想学)	0.62	平成13年度		
博士課程後期3年課程	3	3	－	9	博士 (事業構想学)	0.88	平成20年度		
食産業学研究科 食産業学専攻								宮城県仙台市太白区 旗立 2 丁目 2 番 1 号	
博士課程前期2年課程	2	13	－	26	修士 (食産業学)	0.61	平成21年度		
博士課程後期3年課程	3	3	－	9	博士 (食産業学)	0.55	平成25年度		

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(A・C対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部・学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
- ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
- ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
- ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
- ・A・C対象学部等についても必ず記入してください。
- ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
- ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「―」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<事業構想学群 価値創造デザイン学類>

(1) 担当教員表

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名		
専	教授	井上誠 (59)	平成29年4月	卒業研究サーベイ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 生活環境デザイン概論 建築計画 インテリアデザイン ファシリティマネジメント 生活環境デザイン演習Ⅰ 生活環境デザイン演習Ⅱ 生活環境デザイン演習Ⅲ							
専	教授	茅原拓朗 (48)	平成29年4月	卒業研究サーベイ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 情報化社会と技術							
				データサイエンス入門	兼任	准教授	三浦幸平 (39)	平成29年4月	データサイエンス入門	全学群で共通科目として授業を実施するための担当者変更(29)	
				エクスペリエンスデザイン 価値創造デザイン学基礎 音響・映像デザイン 感性デザイン評価法 感性情報デザイン演習Ⅱ 感性情報デザイン演習Ⅲ 身体と認識 インタフェースデザイン							
専	教授	小嶋秀樹 (51)	平成29年4月	卒業研究サーベイ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 身体と認識 感性情報デザイン演習Ⅰ 感性情報デザイン演習Ⅱ 感性情報デザイン演習Ⅲ エクスペリエンスデザイン メディアプログラミング フィジカルコンピューティング インタフェースデザイン			後任未定		卒業研究サーベイ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	研究室（ゼミ）で研究を行う学生数上限の見直しに伴う担当者の減(29) 【後任未定】平成29年4月新規採用教員の研究領域を考慮し、平成29年度中に公募を予定している。 担当科目については今年度は開講しないことから支障はない。	
専	教授	平岡善浩 (50)	平成29年4月	卒業研究サーベイ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ							
					専	教授	平岡善浩 (50)	平成29年4月	地域フィールドワーク スタートアップ・セミナー アカデミック・セミナー	学外での演習を伴うため担当者追加(29) 少人数教育実施のため担当者追加(29) 少人数教育実施のため担当者追加(29)	
				価値創造デザイン学基礎 生活環境デザイン概論 建築史 生活環境デザイン演習Ⅰ 生活環境デザイン演習Ⅱ 生活環境デザイン演習Ⅲ							
専	教授	蒔苗耕司 (52)	平成29年4月		専	教授	蒔苗耕司 (52)	平成29年4月	大学での学び入門	カリキュラムセンター教員の異動に伴う担当者変更(29)	
専	教授	中田千彦 (51)	平成29年4月	卒業研究サーベイ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ							
					専	教授	中田千彦 (51)	平成29年4月	アートサイエンス概論 総合芸術	追加開講科目(29) 追加開講科目(29)	
				価値創造デザイン学基礎 伝統と文化 構造と機能 造形・プロダクトデザイン演習Ⅰ 造形・プロダクトデザイン演習Ⅱ 風土・伝統デザイン 編集・広告デザイン 生活環境デザイン演習Ⅰ 生活環境デザイン演習Ⅱ 生活環境デザイン演習Ⅲ							

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	准教授	土岐謙次 (48)	平成29年4月	卒業研究サーベイ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専	准教授	土岐謙次 (48)	平成29年4月	スタートアップ・セミナー アカデミック・セミナー アートサイエンス概論 総合芸術	少人数教育実施のため担当者追加(29) 少人数教育実施のため担当者追加(29) 追加開講科目(29) 追加開講科目(29)
				美術 素材と加工 伝統と文化 構造と機能 風土・伝統デザイン 価値創造デザイン演習Ⅰ 造形・プロダクトデザイン演習Ⅰ 造形・プロダクトデザイン演習Ⅱ 造形・プロダクトデザイン 色彩と形態 グラフィックデザイン						
				卒業研究サーベイ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ ウェブプログラミング ウェブデザイン 価値創造デザイン演習Ⅱ 感性情報デザイン演習Ⅰ 感性情報デザイン演習Ⅱ 感性情報デザイン演習Ⅲ インタフェースデザイン メディアプログラミング						
兼担	教授	吉田俊子 (53)	平成29年4月	宮城大学の知の体系 ※						
兼担	教授	西川正純 (57)	平成29年4月	宮城大学の知の体系 ※						
兼担	教授	木村和彦 (55)	平成29年4月	大学での学び入門	専	教授	蒔苗耕司 (52)	平成29年4月	大学での学び入門	カリキュラムセンター教員の異動に伴う担当者変更(29)
				スタートアップ・セミナー アカデミック・セミナー	兼担	教授	藤澤由和 (48)	平成29年4月	スタートアップ・セミナー アカデミック・セミナー	学群の科目とりまとめの教員へ変更(29) 学群の科目とりまとめの教員へ変更(29)
				全学自由ゼミ	兼担	教授	藤原正樹 (64)	平成29年4月	全学自由ゼミ	事業構想学研究科 副研究科長へ担当者変更(29)
兼担	教授	徳永幸之 (57)	平成29年4月	社会の中で生きる	兼担	教授	藤澤由和 (48)	平成29年4月	社会の中で生きる	全学群で共通科目として授業を実施するための担当者変更(29)
				事業構想学概論						クラス数の減に伴う担当者の減(29)
				地域社会・産業とデザイン 国土・地域計画 数理計画						
兼担	教授	川村保 (59)	平成29年4月	キャリアデザインⅠ	兼任	講師	宮崎良徳 (49)	平成29年4月	キャリアデザインⅠ	専門科目のキャリア教育科目を担当する担当者へ変更(29)
兼担	教授	風見正三 (57)	平成29年4月	宮城大学の知の体系 ※ 地域フィールドワーク コミュニティ・プランナー概論及び演習 コミュニティ・プランナー実践論 コミュニティ・プランナーフィールドワーク演習 地域活性化とビジネス						
兼担	教授	富樫敦 (60)	平成29年4月		兼担	教授	富樫敦 (60)	平成29年4月	情報化社会と技術 データサイエンス入門	複数クラス開講のため担当者追加(29) 複数クラス開講のため担当者追加(29)
				応用情報処理 情報サービスデザインⅠ 情報サービスデザインⅡ						
兼担	教授	須栗裕樹 (53)	平成29年4月		兼担	教授	須栗裕樹 (53)	平成29年4月	情報化社会と技術 データサイエンス入門	複数クラス開講のため担当者追加(29) 複数クラス開講のため担当者追加(29)
兼担	教授	糟谷昌志 (49)	平成29年4月	応用統計処理						
兼担	教授	高力美由紀 (55)	平成29年4月	キャリアデザインⅡ インターンシップⅠ キャリア開発Ⅰ キャリア開発Ⅱ インターンシップⅡ キャリア開発Ⅲ						
兼担	教授	MATTHEW WILSON (44)	平成29年4月	English Reading SkillsⅠ	兼担	准教授	川井一枝 (58)	平成29年4月	English Reading SkillsⅠ	新規教員採用に伴う担当者変更(29)
				English Self-ExpressionⅠ						
				English Reading SkillsⅡ	兼担	准教授	川井一枝 (58)	平成29年4月	English Reading SkillsⅡ	新規教員採用に伴う担当者変更(29)
				English Self-ExpressionⅡ						
				English for Academic PurposesⅠ						
				English Self-ExpressionⅢ						
				English for Academic PurposesⅡ Extensive Listening Practical English						

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授	TIMOTHY PHELAN (59)	平成29年4月	Global Studies I Global Studies II Intercultural Communication グローバルインターンシップ 学外研修	兼任	教授	TIMOTHY PHELAN (59)	平成29年4月	日本事情 I 日本事情 II	留学生対象科目のため国際交流・留学生センターを担当する担当者へ変更(29) 留学生対象科目のため国際交流・留学生センターを担当する担当者へ変更(29)
兼任	教授	長澤治夫 (64)	平成29年4月	健康科学 ※						
兼任	講師	長澤治夫 (65)	平成30年4月	健康科学 ※						
兼任	教授	真覚健 (58)	平成29年4月	健康科学 ※						
兼任	教授	山田嘉明 (61)	平成29年4月	心理学	兼任	教授	真覚健 (58)	平成29年4月	心理学	時間割編成に伴う担当者変更(29)
兼任	教授	原田茂樹 (54)	平成29年4月	環境科学入門	兼任	教授	真覚健 (58)	平成29年4月	心理学	時間割編成に伴う担当者変更(29)
兼任	教授	河西敏幸 (49)	平成29年4月	スポーツ科学 スポーツ実技 体を動かす楽しみ	兼任	教授	河西敏幸 (49)	平成29年4月	アートサイエンス概論 総合芸術	追加開講科目(29) 追加開講科目(29)
兼任	教授	弓谷行宏 (61)	平成29年4月	日本語 I 日本語 II 日本語 III 日本語 IV 日本事情 I 日本事情 II	兼任	教授	TIMOTHY PHELAN (59)	平成29年4月	日本事情 I 日本事情 II	留学生対象科目のため国際交流・留学生センターを担当する担当者へ変更(29) 留学生対象科目のため国際交流・留学生センターを担当する担当者へ変更(29)
兼任	教授	金子孝一 (63)	平成29年4月	地域活性化とビジネス					地域活性化とビジネス	クラス数の減に伴う担当者の減(29)
兼任	講師	金子孝一 (65)	平成31年4月	地域活性化とビジネス					地域活性化とビジネス	クラス数の減に伴う担当者の減(29)
兼任	教授	舟引敏明 (59)	平成29年4月	都市と文化 都市計画 地区・街区計画 景観工学 サステナブルデザイン	兼任	教授	舟引敏明 (59)	平成29年4月	地域フィールドワーク	学外での演習を伴うため担当者追加(29)
兼任	教授	日原広一 (61)	平成29年4月	グラフィックデザイン デザインマネジメント						
兼任	教授	北江政文 (56)	平成29年4月	材料科学 測量						
兼任	教授	郷古雅春 (57)	平成29年4月	災害の科学(水)	兼任	教授	郷古雅春 (57)	平成29年4月	地域フィールドワーク	学外での演習を伴うため担当者追加(29)
兼任	准教授	石田祐 (37)	平成29年4月	現代社会の諸相	兼任	准教授	石田祐 (37)	平成29年4月	スタートアップ・セミナー アカデミック・セミナー	少人数教育実施のため担当者追加(29) 少人数教育実施のため担当者追加(29)
兼任	准教授	金子浩一 (44)	平成29年4月	社会と経済						
兼任	准教授	小島(栗田)さつき (41)	平成29年4月	English Reading Skills I English Self-Expression I English Reading Skills II English Self-Expression II English for Academic Purposes I English Self-Expression III English for Academic Purposes II Extensive Listening Practical English	兼任	講師	新々紀子 (40)	平成29年4月	English Reading Skills I	産休による担当者変更(29)
					兼任	講師	CRAIG McDONALD (44)	平成29年4月	English Self-Expression I	産休による担当者変更(29)
									English Reading Skills II	クラス数の減に伴う担当者の減(29)
					兼任	講師	CRAIG McDONALD (44)	平成29年4月	English Self-Expression II	産休による担当者変更(29)
兼任	准教授	曾根洋明 (54)	平成29年4月	English Reading Skills I English Self-Expression I English Reading Skills II English Self-Expression II English for Academic Purposes I English Self-Expression III English for Academic Purposes II Extensive Listening Practical English	兼任	准教授	曾根洋明 (54)	平成29年4月	スタートアップ・セミナー アカデミック・セミナー	少人数教育実施のため担当者追加(29) 少人数教育実施のため担当者追加(29)
									English Self-Expression I	クラス数の減に伴う担当者の減(29)
									English Self-Expression II	クラス数の減に伴う担当者の減(29)
兼任	准教授	山本まゆみ (57)	平成29年4月	世界の歴史と文化						
兼任	准教授	日渡祐二 (45)	平成29年4月	生命科学 生物概論						
兼任	准教授	高橋信人 (40)	平成29年4月	地球と宇宙	兼任	准教授	高橋信人 (40)	平成29年4月	情報化社会と技術 基礎統計学	複数クラス開講のため担当者追加(29) 複数クラス開講のため担当者追加(29)

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	准教授	原田 鋳一郎 (50)	平成29年4月	物理概論	兼任	准教授	原田 鋳一郎 (50)	平成29年4月	基礎統計学	複数クラス開講のため担当者追加 (29)
兼任	准教授	菰田 俊一 (47)	平成29年4月	化学概論	兼任	教授	笠原 紳 (52)	平成29年4月	化学概論	時間割編成に伴う担当者変更 (29)
兼任	准教授	萩原 潤 (45)	平成29年4月		兼任	准教授	萩原 潤 (45)	平成29年4月	情報化社会と技術 データサイエンス入門	複数クラス開講のため担当者追加 (29) 複数クラス開講のため担当者追加 (29)
兼任	准教授	白川 愛子 (54)	平成29年4月	健康科学 ※	兼任	教授	石川 伸一 (43)	平成29年4月	健康科学	時間割編成に伴う担当者変更 (29)
兼任	准教授	千葉 克己 (46)	平成29年4月	災害の科学 (土) 地盤工学 測量	兼任	准教授	千葉 克己 (46)	平成29年4月	地域フィールドワーク	学外での演習を伴うため担当者追加 (29)
兼任	講師	佐藤 麗 (41)	平成29年4月		兼任	講師	佐藤 麗 (41)	平成29年4月	スタートアップ・セミナー アカデミック・セミナー	少人数教育実施のため担当者追加 (29) 少人数教育実施のため担当者追加 (29)
				English Reading Skills I					English Self-Expression I	クラス数の減に伴う担当者の減 (29)
				English Self-Expression I					English Self-Expression II	クラス数の減に伴う担当者の減 (29)
				English Reading Skills II					English Self-Expression II	クラス数の減に伴う担当者の減 (29)
				English Self-Expression II					English Self-Expression II	クラス数の減に伴う担当者の減 (29)
兼任	助教	MATTHEW NALL (33)	平成29年4月	English for Academic Purposes I					English Reading Skills I	クラス数の減に伴う担当者の減 (29)
				English Self-Expression I					English Reading Skills II	クラス数の減に伴う担当者の減 (29)
				English Reading Skills II					English Self-Expression I	クラス数の減に伴う担当者の減 (29)
				English Self-Expression II					English Self-Expression II	クラス数の減に伴う担当者の減 (29)
				English for Academic Purposes I					English Self-Expression II	クラス数の減に伴う担当者の減 (29)
兼任	講師	叢 莉蔓 (48)	平成29年4月	中国語 I 中国語 II	兼任	講師	西貝 定行 (50)	平成29年4月	中国語 I 中国語 II	時間割編成に伴う担当者変更 (29) 時間割編成に伴う担当者変更 (29)
兼任	講師	黄 考 善 (49)	平成29年4月	韓国語 I 韓国語 II						
兼任	講師	VU THUY MINH CHAU (43)	平成29年4月	ベトナム語 I ベトナム語 II						
兼任	講師	伊藤 大介 (43)	平成29年4月	日本の歴史と文化 東北の歴史と文化	兼任	准教授	三好 俊文 (41)	平成29年4月	日本の歴史と文化 東北の歴史と文化	新規専任教員採用に伴う担当者変更 (29) 新規専任教員採用に伴う担当者変更 (29)
兼任	講師	佐藤 寿一 (56)	平成29年4月	音楽	兼任	講師	渡部 勝彦 (71)	平成29年4月	音楽	時間割編成に伴う担当者変更 (29)
兼任	講師	佐藤 駿 (33)	平成29年4月	現代社会と哲学	兼任	准教授	菅原 謙 (52)	平成29年4月	現代社会と哲学	新規専任教員採用に伴う担当者変更 (29)
兼任	講師	木村 敏明 (50)	平成29年4月	人と宗教					人と宗教	新規専任教員採用に伴う担当者変更 (29)
兼任	講師	曾我 洋介 (39)	平成29年4月	憲法	兼任	講師	仲宗根 卓 (35)	平成29年4月	憲法	新規専任教員採用に伴う担当者変更 (29)
兼任	講師	小野 秀壽 (63)	平成29年4月	数理科学 数学概論	兼任	准教授	三浦 幸平 (39)	平成29年4月	数理科学 数学概論	新規専任教員採用に伴う担当者変更 (29) 新規専任教員採用に伴う担当者変更 (29)
兼任	講師	巖 爽 (47)	平成31年4月	環境心理・行動学						
兼任	講師	佐藤 和裕 (49)	平成31年4月	建築法規・環境法規						
兼任	講師	鈴木 康夫 (68)	平成32年4月	知的財産管理						
兼任	講師	渋谷 純一 (73)	平成31年4月	構造力学 I						
兼任	講師	権代 由範 (36)	平成31年4月	構造力学 II						
兼任	講師	菅原 正則 (45)	平成31年4月	生活環境工学						
兼任	講師	松本 年史 (67)	平成31年4月	構造力学演習 建築一般構造						
兼任	講師	福地 一彦 (66)	平成31年4月	施工技術						
兼任	講師	齊藤 智之 (66)	平成31年4月	建築設備						
兼任	講師	三末 和男 (55)	平成30年4月	情報構造と可視化						
兼任	講師	橋本 陽介 (33)	平成31年4月	ユニバーサルデザイン						
兼任	講師	増田 豊文 (59)	平成32年4月	建築コスト						
兼任	講師	井川 望 (61)	平成32年4月	耐震設計法						
兼任	講師	遠藤 雅伸 (60)	平成32年4月	エンタテインメントデザイン						
					専	教授	鹿野 護 (44)	平成29年4月	アートサイエンス概論 価値創造デザイン演習 I 価値創造デザイン演習 II ウェブデザイン	追加開講科目 (29) 新規専任教員採用に伴う担当者追加 (29) 新規専任教員採用に伴う担当者追加 (29) 新規専任教員採用に伴う担当者追加 (29)

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
					兼任	准教授	三浦幸平 (39)	平成29年4月	基礎統計学 地域フィールドワーク	複数クラス開講のため担当者追加(29) 学外での演習を伴うため担当者追加(29)
					兼任	准教授	菅原謙 (52)	平成29年4月	地域フィールドワーク	学外での演習を伴うため担当者追加(29)
					兼任	准教授	三好俊文 (41)	平成29年4月	地域フィールドワーク	学外での演習を伴うため担当者追加(29)
					兼任	講師	仲宗根卓 (35)	平成29年4月	地域フィールドワーク	学外での演習を伴うため担当者追加(29)
					兼任	准教授	佐々木秀之 (41)	平成29年4月	地域フィールドワーク スタートアップ・セミナー アカデミック・セミナー	学外での演習を伴うため担当者追加(29) 少人数教育実施のため担当者追加(29) 少人数教育実施のため担当者追加(29)
					兼任	講師	板明果 (43)	平成29年4月	スタートアップ・セミナー アカデミック・セミナー	少人数教育実施のため担当者追加(29) 少人数教育実施のため担当者追加(29)
					兼任	教授	秋月治 (62)	平成29年4月	情報化社会と技術 データサイエンス入門	複数クラス開講のため担当者追加(29) 複数クラス開講のため担当者追加(29)
					兼任	教授	笠原紳 (52)	平成29年4月	環境科学入門	オムニバス科目への変更に伴う担当者追加(29)
					兼任	教授	神宮宇寛 (49)	平成29年4月	物理概論	複数クラス開講のため担当者追加(29)
					兼任	講師	渡部勝彦 (71)	平成29年4月	アートサイエンス概論 総合芸術	追加開講科目(29) 追加開講科目(29)
					兼任	講師	相澤富美江 (52)	平成29年4月	アートサイエンス概論 総合芸術	追加開講科目(29) 追加開講科目(29)
					兼任	講師	高山登 (72)	平成29年4月	アートサイエンス概論 美術 総合芸術	追加開講科目(29) オムニバス科目への変更に伴う担当者追加(29) 追加開講科目(29)
					兼任	講師	青野文昭 (49)	平成29年4月	アートサイエンス概論 美術 総合芸術	追加開講科目(29) オムニバス科目への変更に伴う担当者追加(29) 追加開講科目(29)
					兼任	講師	渡辺誠一郎 (66)	平成29年4月	アートサイエンス概論 総合芸術	追加開講科目(29) 追加開講科目(29)
					兼任	講師	上野晴夫 (62)	平成29年4月	数学概論	複数クラス開講のため担当者追加(29)
					兼任	講師	里見宗久 (66)	平成29年4月	数学概論	複数クラス開講のため担当者追加(29)

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成29年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
8 名	4 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教 授	准教授	講 師	助 教	計	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)
6	1	0	1	8	6	1	0	1	8	6	1	0	1	8
(6)	(1)	(0)	(1)	(8)						[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入する[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（A））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

<事業構想学群 価値創造デザイン学類>

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由							
1	教授	小嶋 秀樹	必修	卒業研究サーベイ	③	一身上の都合による退職のため就任辞退（29）							
			必修	卒業研究Ⅰ	③								
			必修	卒業研究Ⅱ	③								
			必修	身体と認識	③								
			選択	感性情報デザイン演習Ⅰ	③								
			選択	感性情報デザイン演習Ⅱ	③								
			選択	感性情報デザイン演習Ⅲ	③								
			選択	エクスペリエンスデザイン	③								
			選択	メディアプログラミング	③								
			選択	フィジカルコンピューティング	③								
選択	インタフェースデザイン	③											
合計（A）				後任補充状況の集計（B）									
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）							
1	人	必修	4	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	4	科目
		選択	7	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	7	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	11	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	11	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
 ・ 就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由		
該当なし								
合計（Ａ）					後任補充状況の集計（Ｂ）			
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
該当なし								

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（A）+（C）				後任補充状況の集計（B）+（D）			
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
1	人	必修	4 科目	必修	0 科目	必修	4 科目
		選択	7 科目	選択	0 科目	選択	7 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	11 科目	計	0 科目	計	11 科目

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

就任辞退の番号1については、退職は一身上の都合（家庭の事情）によるものであり、真にやむを得ない事情によるものであると判断して退職を認めた。学生に対しては、平成27年4月5日に実施したオリエンテーションで専任教員を発表しており、今年度については当該教員の開講科目が存在しないため教育上の支障は発生しない。

- (注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (H28年4月)	該当なし			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<事業構想学群 価値創造デザイン学類>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

平成28年4月より、教育推進機構を設置し、全学的な教学マネジメントを実施している。特に機構下部組織のカリキュラムセンターが教員の資質の維持向上の方策について所掌しており、授業評価アンケート、シラバスの改善、FD・SDの企画・運営を行っている。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

<カリキュラムセンター運営会議>

平成28年度は13回開催

- 第1回 平成28年4月27日
- 第2回 平成28年5月11日
- 第3回 平成28年5月25日
- 第4回 平成28年6月22日
- 第5回 平成28年7月27日
- 第6回 平成28年8月24日
- 第7回 平成28年9月28日
- 第8回 平成28年10月26日
- 第9回 平成28年11月30日
- 第10回 平成28年12月21日
- 第11回 平成29年1月25日
- 第12回 平成29年2月21日
- 第13回 平成29年3月22日

c 委員会の審議事項等

<カリキュラムセンター運営会議>

平成28年度

- 第1回 平成28年4月27日
 - 1 役割分担と今後のスケジュール等について
 - 2 ディプロマ・カリキュラム・アドミッションポリシーの策定について
 - 3 平成28年度前期授業評価等について
 - 4 フレッシュマンコア等の教材開発の進捗について
 - 5 文部科学省への届出等の提出について
 - 6 文部科学省補助事業「AP事業」の申請について
- 第2回 平成28年5月11日
 - 1 科目分野別課題共有
 - 2 平成28年度前期授業評価等について

- 第3回 平成28年5月25日
- 1 カリキュラムセンターの主項目及び科目分野別業務工程表について
 - 2 ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー策定について
 - 3 科目分野別の課題について
 - 4 基盤教育科目の教材開発について
 - 5 平成28年度 FD・SDの実施計画について
 - 6 学類選択スキームと成績評価等（GPA）について
- 第4回 平成28年6月22日
- 1 ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー（案）について
 - 2 各学群での取得可能資格の申請手続き等について
 - 3 学類選択フローの考え方について
 - 4 新カリキュラム（フレッシュマンコア）科目担当教員の配置と教材開発等について
 - 5 平成28年度補正予算・平成29年度当初予算策定に向けて
 - 6 平成29年度非常勤教員任用方針及び予算編成について
 - 7 平成28年度 FD・SDの実施計画について
 - 8 平成28年度前期 授業評価アンケート実施について
 - 9 3大学連携について
- 第5回 平成28年7月27日
- 1 シラバス記載要領について
 - 2 キャリア教育、インターシップ分野について
 - 3 ナチュラルサイエンス分野について
 - 4 グローバルコミュニケーション（英語）について
 - 5 教材開発について
 - 6 大学における教材開発に関するコンテンツの課題等について
- 第6回 平成28年8月24日
- 1 シラバス記載要領について
 - 2 地域フィールドワーク分野について
 - 3 情報科学分野について
 - 4 カリキュラムセンター工程表及び分野別工程表と予算について
 - 5 学類選択他、規程、制度、仕組みの検討について
- 第7回 平成28年9月28日
- 1 部門別の進捗状況について（教育の具現化に向けて）
 - 2 教材開発の進捗状況について
 - 3 新シラバス作成の具体化と学修指導体制の確立にむけて
 - 4 新履修規程策定、成績評価方法の具体的検討について
 - 5 H28年度前期 授業評価結果（速報版）と授業改善、フィードバック等について
 - 6 H28年度前期 成績評価（分野、科目、専門）を踏まえての課題、改善について
 - 7 全学SDの結果報告、その活用及び今後のSD計画について
- 第8回 平成28年10月26日
- 1 基盤教育科目シラバス（案）のフィードバックと修正ポイント、スケジュールについて
 - 2 平成29年度カリキュラム及び時間割編成の考え方について
 - 3 平成29年度入学生のパソコン必携の対応について
 - 4 新カリキュラム履修規程（案）策定のポイントと今後のスケジュールについて
 - 5 現カリキュラム科目の新カリキュラム読替検討について
 - 6 地域フィールドワークについて
- 第9回 平成28年11月30日
- 1 平成29年度からのカリキュラム編成方針及び時間割編成方針（案）について
 - 2 新カリキュラム履修規程（案）について
 - 3 現カリキュラム科目の新カリキュラム読替について
 - 4 基盤教育科目シラバス（第二次案）及び専門科目シラバス（案）のフィードバックと今後のスケジュールについて
 - 5 平成29年度年度計画策定・予算作成及び平成28年度年度計画暫定実績について
 - 6 3公立大学連携事業及び12月17日（土）開催シンポジウムについて
 - 7 平成28年度前期授業評価後の改善計画等について
 - 8 地域フィールドワークの進捗について
- 第10回 平成28年12月21日
- 1 新カリキュラム履修規程（案）について
 - 2 平成29年度カリキュラム編成方針及び基盤教育時間割編成方針（案）について
 - 3 基盤教育科目シラバス（第三次案）及び専門科目シラバス（第二次案）のフィードバックと今後のスケジュールについて
 - 4 現カリキュラム科目の新カリキュラム読替について（食産業学部の確認）
 - 5 平成29年度年度計画策定（案）・予算（案）及び平成28年度年度計画暫定実績（案）について
 - 6 平成28年度前期授業評価後の改善計画等について（基盤教育関係）
 - 7 地域フィールドワークの進捗について

第11回 平成29年1月25日

- 1 <新カリキュラム>宮城大学履修規程（案）について
- 2 シラバスについて
- 3 各科目の学修指導及び成績評価について
- 4 授業評価及び授業改善計画について
- 5 新カリキュラム科目における資格申請等について
- 6 平成29年度年度計画策定（案）・予算（案）及び
平成28年度年度計画暫定実績（案）について
- 7 地域フィールドワークの進捗について

第12回 平成29年2月21日

- 1 宮城大学履修規程及び宮城大学学則の改正について
- 2 現カリキュラム科目の新カリキュラム読替について
- 3 各学部の授業改善計画について
- 4 新カリキュラム科目のシラバスについて
- 5 学位規則の改正について
- 6 他学群・他学類等授業科目の履修実施要綱について
- 7 その他
- 8 今後の授業評価等の方途について
- 9 各週の時間割について
- 10 地域フィールドワークの進捗について
- 11 教材（スタートアップセミナー／アカデミックセミナー）、MAPについて

第13回 平成29年3月22日

- 1 宮城大学学則、宮城大学履修規程、他要綱の制定、改正確定版について
- 2 1の制定・改正による下位要綱等の検討
- 3 各学部のH28年度前期授業改善計画の学生への公表及び
H28年度後期授業改善、H29年度の授業評価について
- 4 H29年度高大接続連携事業年度計画及び連絡協議会設置について
- 5 H29年度3公立大学連携事業・奈良県立大学とのパイロットプログラムについて
- 6 各学群の資格申請結果等について
- 7 地域フィールドワークの進捗について
- 8 宮城大学アカデミックポートフォリオ（MAP）の
学生への利用方法の周知及び専用バインダーの配布について
- 9 H29年度カリキュラムセンターの事業等の計画策定について

② 実施状況

a 実施内容

b 実施方法

c 開催状況（教員の参加状況含む）

○全学SD「教職協働で取り組む学生一人ひとりの学修支援に向けて」

- ・平成28年8月22日（月）開催
- ・役員8/8，教員92/131，事務職員43/52，合計143/191名参加
- ・講演及びワークショップを実施。後日グループレポート，個人レポートを提出（提出率82%）

○スタートアップ・セミナー実施に向けたワークショップ

- ・平成28年12月7日（水），平成29年2月23日（木）開催
- ・教員34名（延べ）参加
- ・ワークショップ形式による，指導方法に関する相互学習及び開発，ルーブリックの開発等

○全学FD「新教育課程でのインターンシップ」

- ・平成28年11月16日（水）開催
- ・役員8/8，教員62/131，事務職員45/55，合計115/194名参加
- ・学外講師による講演，学内講師による新課程での運営方法説明

○看護学部FD「卒後も学び続ける人材育成につなげる看護学群」

- ・平成28年8月10日（水）開催
- ・看護学部教員46/50名出席
- ・グループワーク形式

○事業構想学部FD「フレッシュマンコア科目の概要と検討状況について」

- ・平成29年2月8日（水）開催
- ・事業構想学部教員28/34名出席
- ・新課程に向けた情報共有と意見交換

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

平成29年度からの新課程に向けた授業の改善と学生に対する指導体制の在り方を中心に平成28年度は取り組んだ。8月に開催した全学SDでは、平成29年4月1日SD義務化の大学設置基準の改正に先立ち、全ての理事、教員及び事務職員を対象として、あるべき大学の姿や求められる学生サービスについて活発な議論を実施した。このSDでは、個人レポートに加えグループレポートも全員に課すことにより、各部門で発案されたテーマに基づきながら教育改善、授業改善に結びついたFD活動が発展的に実施された。

平成29年度からは、FD・SD活動をカリキュラムセンターがより主体的に企画運営し、3学群とも連携を強めながら、さらに体系的な教育改善・組織改善の体制を整備することとしている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

平成28年度前期末（7月～8月）および後期末（2月～3月）にウェブ上でアンケートを実施した。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・ 授業評価結果に基づき、各担当教員が授業改善計画を作成し、授業評価結果と併せて学内で公開。
- ・ 各教育課程（学部）全体での授業改善に向けた取組の実施計画を学部長が作成。
- ・ 上記の計画に基づき、平成29年度の授業が実施されているかカリキュラムセンターおよび第三者による確認を実施予定。
- ・ 学生の学修到達度を把握し、授業科目や教育課程それぞれの教育効果を測定できるよう、新しい授業評価アンケートシステムの導入に向けて準備を進めている。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

価値創造デザイン学類では、人間の感性や認知特性等の基本的理論を踏まえ、地域のもつ自然的・文化的資源に根ざしたデザインや新しい文化的価値を探究し、創造することで、産業・文化の創造的発展に取り組める人材を育成することを目的としている。

設置初年度の現段階では、新たに導入したフレッシュマンコアを中心とした基盤教育科目を開講しているが、1年後期からは、学類共通の専門基礎科目として「事業構想学総論」「地域活性化とビジネス」「地域社会・産業とデザイン」の3科目を開講する。こうした学群共通科目の展開により、2年次進級時の「学類選択・決定」の指針となり、かつ、学生自身が進む学類での体系化されたカリキュラムにつながる学修を初年次から深めていく。

カリキュラム編成にあたっては、教育推進機構の下に組織されたカリキュラムセンターが教学マネジメントの役割を担い、まず基盤教育の編成方針がより明確になるよう「ディプロマポリシー」、「カリキュラムポリシー」を策定した。また、その方針に基づき、基盤教育の基幹科目となるフレッシュマンコア科目の実施に向け、オリジナル教材の開発やルーブリックをはじめとする成績評価基準の策定等の整備をしてきた。

しかし、今年度より導入された「学群・学類・学系制」のメリットを最大限に生かし、学群・学類の垣根を超えて、基盤教育カリキュラムの運営実施・検証・改善に責任を持つ組織として「基盤教育群」を新設し、群長のもと教授会を立ち上げた。まさに、設置の趣旨で掲げた基盤教育の骨太化を具現化するための組織体制強化である。

以上のように、設置計画に基づき、設置の趣旨・目的が実現できるよう、全学を挙げて、着実に取り組みを進めているところである。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・ 本学では、中期目標期間の第5年度に合わせて6年周期として認証評価を受けることとしており、その前年度に、それまでの自己点検・評価をまとめ報告書として作成している。
- ・ 独立行政法人化の最初の認証評価は平成25年度であったため、上記のタームに基づき平成24年度末（25年3月）に自己点検・評価報告書を作成し、ホームページにおいて公表している。
- ・ 次回は平成31年度に認証評価を受審予定であり、その前年度である平成30年度末までに、それまでの自己点検・評価をまとめて評価報告書を作成することとしている。

b 公表方法

- ・ 本学ウェブサイトにて公表している。 <http://www.myu.ac.jp/site/co/25ninshou.html>

③ 認証評価を受ける計画

- ・ 平成25年度に、公益財団法人大学基準協会による大学評価を受け、その結果、本学は大学基準に適合していることが認定された。
- ・ 次回は平成31年度に認証評価を受審予定である。

- (注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (2017年5月31日)